

プロの占い師が密かに使う

一巻

占い心理学 恋愛・結婚編



人の構造を知らないと占いは使えない



目次 占い心理学 恋愛・結婚編 一巻

はじめに 9

占い師には理論を学んでもなれないワケ 12

人類の燔祭 14

世の中の人々は「仕事」よりも「恋愛」「結婚」に意識が向いている

JUMP

16

JUMP

「あなたの悩みが間違っている!」これが奇法だ 20

■占いの「正法」と「奇法」とは? 20

■四柱推命での奇法 21

JUMP

「恋愛・結婚・不倫」の占い心理学的解決法

- ・男女の相性を見るときの重要なポイント 45
[JUMP](#)
- ・「私を捨てる人はどんな人?」への四柱推命的応答話法 47
[JUMP](#)
- ・「不倫にはまつたらどうするか?」という相談へのアドバイス 53
[JUMP](#)

43

[JUMP](#)

■二分思考の恐ろしさ

22

[JUMP](#)

■どんな場面でも「凶」を探してしまった脳

24

1. 「問題を解決してあげよう」はNG 26
2. 「恐怖に支配された脳が凶を探し続ける」
3. 「人生にマニュアルはない」 38

[JUMP](#)

29

[JUMP](#)

[JUMP](#)

・自分の内面に気がつくには?

56

JUMP

・悩む人の「考える」とは錯覚にすぎない

58

・十干別「不倫にはまつたらどうするか?」四柱推命的応答話法

■「あの人は、いい人ですかどうですか?」の占い心理学的解決法

■「彼女（または彼氏）の心をつかむには?」の占い心理学的解決法

「彼女（または彼氏）の心をつかむには?」四柱推命的応答話法

■「略奪愛は罪なのか?」の占い心理学的解決法

70

JUMP

「前世と現世仕事と結婚」の占い心理学的解決法

75

JUMP

■「この恋に飛び込んでいいですか?」という相談

75

66 64 62 59

JUMP

JUMP

「占いビジネス」「結婚」「セックス」のお悩み解決 115

JUMP

- 「恋によつて何を学ぶのか?」 四柱推命的応答話法 77
- 「結婚生活より仕事を優先させると?」 四柱推命的応答話法 83
- 「結婚生活より仕事を優先せると?」 ホロスコープ的応答話法
- 「占い専門家がはまるワナ 92
- 「前世はなにをしていたか?」 四柱推命的応答話法 96
- 「前世はなにをしていたか?」 四柱推命的十干別応答話法 101
- 「前世はなにをしていたか?」 四柱推命的十一運星別応答話法
- 「どうしたら結婚できるか?」 四柱推命的応答話法 111

JUMP

103

JUMP

89

JUMP

- | | |
|--|------------|
| ■ 「どうすれば占いビジネスで儲けることができますか?」
「いつ結婚できますか?」四柱推命的応答話法 | 118 |
| ■ 「あなたが独身でいた理由は?」の占い心理学的解決法
・「自分が好きになれない。自信が持てない」の四柱推命的応答話法 | 115 |
| ■ 「異性に心を開くことができない」四柱推命的応答話法 | 120 |
| ■ 「片思いの状態から脱出したい」四柱推命的応答話法 | 122 |
| ■ 「異性からあなたはどう思われているか?」四柱推命的応答話法 | 127 |
| ■ 「セックスの相性」占い心理学的解決法
・肉体の欲求を伝えられない女性の悩みを解決するには?
・セックスの相性の根源は心情的なもの | 135 |
| ■ 「人生の分かれ道」占い心理学的解決法 | 143 |
| JUMP | 149 |
| JUMP | 152 |
| JUMP | 130 |
| JUMP | 142 |
| JUMP | 147 |
| JUMP | 148 |

フォーチュンソフトの占い師向け プロ向け
Windows 対応ソフトウェアの紹介 156

新四柱推命プロ版ver10 東洋医学バンドルセット 157

西洋・インド・七星占星学プロ版 マヤ占星術バンドルセット 159

家相・手相・姓名判断プロ版 奇門遁甲バンドルパック 162

JUMP

星平会海プロ版 素質心理学バンドルパック

168

フォーチュンソフトHP

Web

占い心理学 恋愛・結婚編

はじめに

占いに関心をもつてている皆さんは、おそらくは、今の自分に納得がしないからでしょう。もっと自分を知りたい、もっと相手を知りたい、そしてもっと楽しく生きたい、もっと人間関係を良くしたい、こんな思いがあるのではないでしょうか。実際に、運命学を長年学んでいるのに、人生がちつとも良くならないのはなぜ？占いを勉強した上で、こういう思いをお持ちの方も多いと思います。

運命とか運勢、そういう言葉に引かれて運命学（四柱推命、紫微斗数推命、

ホロスコープ、気学、タロット、断易、周易など)を学び始めたものの生活ぶりは一向によくならない。運命学というからには、恋人の欲しい人には恋人を、お金の欲しい人にはお金、結婚したい人には結婚相手、仕事の欲しい人には仕事、それぞれの人が望むものを得るために、各人の現状を一步でも前進させるものであつて欲しいものです。

残念ながら現状市販されている書籍を読んでも、運が良くなることはないでしょう。なぜでしよう? 占いつて人を診断する道具でしょう。では人って、そもそもどんなふうに設計されているのか? 人の構造ってどんなふうになつていいのか? 心と体の関係はどうなつてているのか? こんな根本的なことを学ばないで運命学の理論を学習しても、効果があるわけはないのです。

そんな中、誕生した「占い心理学」は長い歴史が積み重なつた占いの世界を、新しい方向へ変えていくものかもしません。別名「**奇法運命学**」と名付け

られたこの内容は、運命学をどう使い、どう発想し行動するのか、今までの既成概念の枠の中でしか発想できない多くの人々に与えられた、枠の外からの発想であります。今回のこの書籍が、皆様の占いライフと皆様の周りの方々の生活を豊かにするものとなり、皆様の心を満足させる、そういう光となつてくれることを願つてやみません。

フォーチュンソフト 代表 天野 雲海

フォーチュンソフトHP

Web

占い師には理論を学んでもなれないワケ

占いの理論を学んでも占い師にはなれませんし、占いビジネスもできるようにはなりません。剣道ができるようになるために、剣道の書籍を百冊読んでもできないのと同じです。占いは、「道」なのです。剣道、柔道、茶道、と同じように実践して積み上げて行くしかありません。では、皆さんはまだ実践していないのでしょうか?いいえ、もう十分に実践しているのです。今まで生きてきて、苦しいこと、悲しいこと、うれしいこと、いろいろな困難を越えてきたでしょう。それがそのまま、活用できるからです。あとは、ちょっとした考え方のコツをつかむだけですが、これがなかなか難しいのです。

人って今までの経験で判断してしまう生き物ですから、「思い込み」「世間体」「一般常識」といったものにとらわれているからです。

人には誰でも、どんな人にでも、『知恵』とか、『叡智』といわれる直観的な能力が備わっているといわれています。ところが常識とか習慣、教育された内容などに縛られて自由性を失つてしまつた人間は（「ねば、るべきの世界にどっぷり浸つてしまふこと）これが自分の中にあることを忘れてしまうというのです。このことをサンスクリット語では、「パニヤ・パラミタ」と言われています。

「……？」どこかで聞き覚えのある響きではありませんか？、実はこれが、インドから中国を渡つて日本に来て「般若心経」になつたというのです。そして原語「パニヤ・パラミタ」を直訳すると『自分の中に既に持つてゐる、内在された叡智』といふ意味になるそうです。つまり「幸せになる答えは、全部、自分の中にあるよ……」というなのです。

本書では、あらゆるジャンルにわたつて、非常識で非道徳的な観点から読

者の脳をゆきぶるように工夫してあります。その結果、皆さんの直観が啓発されることを望みます。直観が啓発されたら、占いの理論は少し学ぶだけで、プロの占い師以上の洞察力が習得できます。

人類の燔祭

昨今は旧約聖書とホロスコープ（占星の天宮図）を勉強しないと世界の相場はわからない。為替、金利、株価先物の相場に取り組んでいるディーラーの関心はやはりホロスコープである。天宮図は次として、聖書は読んで面白いところと煩雑なところと、理解しにくいところが多い。しかし聖書の背景や、歴史の流れを解説する書はきわめて豊富である。相場世界は石油という問題にふりまわされる。石油問題は中東情勢に左右される。中東を知ろうと思えばアブラハムを知らなければならない。

アブラハムといえば聖書の圧巻である。神はアブラハムを試みて彼に言った。『アブラハムよ』『ここにあります』『あなたの愛するひとり息子のイサクを連れてモリヤの地に行き、私の示す山で彼を燔祭として捧げなさい』燔祭とは祭壇で神に供えるものを焼いて二つに裂くことである。アブラハムは、たきぎをその子イサクに背負わせて二人一緒にモリヤに行つた。アブラハムの子イサク。イサクの子ヤコブ。ヤコブに十二人の子。この十二人の子がイスラエル十二支族の起源である。十二支族は二つにわかれ。南王国のユダ、ベニヤミン（南）の二族がユダヤ王国を築く。との十支族（北王国）はイスラエル王国を築く。北と南と二つに分裂するのは神に供え物を捧げるとき、燔祭は必ず二つに裂かなければならぬのと同じことである。人類は南北にわかれ対立し、東西に分かれ対立してきた。

現代のユダヤ人はユダヤ王国に属する支族の子孫で、ローマ帝国以来、国を

失い二千年にわたり放浪してきた。そこから追われたアラブ諸国民は、回教と、ユダヤ教の違いや居住権、生存権の問題などで戦争をくりひろげる。中東諸国の動きを歴史的に理解するには、アブラハム、モーゼ（脱エジプト記）までさかのぼらなければならぬ。

【『復刻先物の世界相場開眼』鎌木繁著 パンローリング(株)より転載】

世の中の人々は「仕事」よりも「恋愛」「結婚」に意識が向いている

インターネットの検索エンジンで一ヶ月の間に、どのくらいの人数が、どういうキーワードで何を検索しているかというグーグルのデータがあります。このデータから得られる数値をみると、世の中の人が何に関心を持っている

のか一目瞭然となります。この事例を紹介していきます。

「恋愛」というキーワードで検索した人は、一ヶ月何人いるでしょうか？百八十万人です。「性格」というキーワードで検索した人は、何人でしょうか？八十万人です。「恋人」というキーワードで検索した人は、何人でしょうか？百万人です。「彼女」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？百八十万人です。「告白」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？六十八万人です。「相性」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？五十五万人です。ここで「四柱推命相性」というキーワードも結構人気がありますが、こういう「相性」を含めると約七十万人くらいまで数字が上がります。さて、では「**結婚**」というキーワードで検索した人は何人いるでしょうか？実は八百万人です。毎月八百万人の人が「結婚」というキーワードを入力しているのです。断トツに多いです。その次が「恋愛」の百八十万人です。

世の中の人々は仕事で頭を悩ませるというよりも、結婚や恋愛の悩みを解決するほうが、より大きな関心事なのです。ですから、ここに焦点を当てビジネスをしなければいけません。世の中の多くの人が欲しがっているものが、結婚と恋愛の情報だからです。ですから結婚や恋愛にターゲットを合わせなければ占いビジネスは儲かりません。ただし、恋愛や結婚も根本的には人間関係ですから、占いカウンセラーは「人間関係をどうしたらいいの?」という観点からアドバイスをしていけばいいのです。人間関係というものは、仕事でも男女間でも同じです。恋愛関係で悩む人は、仕事の人間関係でも悩んでいます。逆に仕事の人間関係で悩んでいる人は、恋愛関係でも悩んでいます。仕事の人間関係は物凄くうまいけど、男女の人間関係はうまくいかない、という人は実際はあまりいません。

フォーチュンソフト社では、日本人とフィリピン人との国際結婚の斡旋もやつていたのですが、結婚を希望する日本の男性に「この女性は非常に家柄もいいし、気立てもいい、よく働く、女房としては絶対に安全。パイで、間違いないのない人だからお勧めしますよ」と紹介しても、ほとんどの場合が結婚しません。なんとなく、ピンとこないので決断できないのでしょうか。そして結局、家柄も悪く、貧乏で、結婚後に仕送りをしないといけないような人と結婚してしまいます。そんな現実を何組も目の当たりにしてくると、結婚というものは合理的な面だけを考えてできるものではないことがわかります。ですから、占い理論で恋愛と結婚を解説する以上に、心理学的な観点から占いを使わないと実際とあわないのです。

「あなたの悩みが間違っている!」これが奇法だ

■占いの「正法」と「奇法」とは?

「奇法」とは一体何でしょか?それは、正法に対する反対の言葉です。では、正法とは何でしょか?それは、「これまでの古典的な占い」のことをいいます。例えば四柱推命では、まず格局や用神を決めて、そこから命式や流年の運の吉凶を決定するのが一般的な鑑定法ですが、このような古典的な運命学の使い方を総称して「正法」といいます。今までの運命学全般についていえることですが、正法というのは、最終的に吉と凶を分けることを前提に発明された理論なのです。「占い」といえば、大吉、吉、大凶などのように、はつきり吉と凶に分かれているのが当たり前、というイメージの方がが多いと思い

ますが、そういうオーソドックスなスタイルが正法の占いです。

吉と凶をはつきり分けるスタイルが正法ですが、実際の占いの現場では、相談を持ちかけられ、相談者の抱えている様々な悩みを解決するときに、往々にして正法では役に立たないことがあります。そこで、必要となつてくるのが吉凶を越えて使う「奇法」という手法なのです。そして実は、正法と奇法とは表裏一体のものなので、占術家は両方を使いこなす必要があるのです。今回解説していく奇法大全とは、正法（古典的な占い）を卒業して、吉とか凶を知つたとしても、その通りにはいかない、人生うまくいかないことを経験した人が使うものなのです。ですから「奇法」は、運命学の指導員を目指す人は絶対に必要となる手法といえます。

■四柱推命での奇法

詳しく述べると、例えば四柱推命では、まず生年月日から命式出します。そして「命式がこうだから、あなたは何々です」という発想で鑑定をすすめていますが、これがオーソドックスな正法の鑑定の手順です。ところが奇法では、生年月日を必要としません。なぜなら**人の構造**を知つていると答えは決まつているからです。例えば何かの問題があつたとすると、その瞬間、答えはすでに決まつているのです。これが奇法の発想です。ですから、占い師とか占いカウンセラー、電話占い師など、いわゆる占い産業で仕事をしている人は、実は正法を知らなくても、奇法さえ知つておけば商売が成り立つのです。占いの相談にやつてくる人は、各人の個性が違つても、生年月日が違つても、万人に共通する答えがある。これが奇法なのです。

■二分思考の恐ろしさ

実際の占いの現場では、従来の吉とか凶を判定する正法だけを使つていても、「お客さんが幸せにならない」という現実があります。占い師に「凶です」と言われば、お客さんの波動はやつぱりとガクッと落ちます。その瞬間、お客様の運が下がってしまいます。ところが、逆に「吉です」と言われた場合でも、大抵のお客さんは「吉とは言われたけど、吉の中にも良ことと悪いことあるんじゃないのか?」と悲観的な発想をしてしまうのです。「吉の中にも凶がないか?」「そうは言つても、なんか悪いことあるんじゃないか?」と吉の中に凶を探そうとするのです。そこで「いやいや、大丈夫ですよ。」と言つたとしても、お客さんは、さらに、その言葉の中に吉と凶を探そうとします。これは、お客さんの心の中で感情を支配している何物かが、いつまでたつても吉と凶を探そうとさせるのです。

■どんな場面でも「凶」を探してしまつ脳

このことを「物事を分けて考える発想」といいます。ここは非常に重要なポイントなのですが、この二つに分ける発想のことを「二分思考」といいます。この二分思考にどっぷり浸かっている相談者と対面している限り、その人の感情はどこまで行つても「吉と凶を分けたい、分けたい、分けたい……」となつてゐるのです。終わりがありません。どんなに良いことを言われても、二分思考の人は必ず悪いことの中に悪いことを発見しようとします。脳がそうなつてしまつているのです。脳の回路がそうなつてしまつているのです。ですから二分思考の人は、どこまでいっても「百分の吉」を探そうとします。ところが現実には「百分の吉」の人生なんてないので、結論をはつきり言いつますと、吉と凶を分ける二分思考でいる限り、その人は開運できません。知らず知らずのうちに、不安の感情に心がコントロールされている状態なので、

何をどう頑張つても状況は良くなりません。

そこで、これとは反対の方向へ導いていくのが奇法です。人って、**何も考えないと物事を悪い方向に考えて心配してしまっように設計されている**のです。ですから、奇法は最初から全吉であるべきという考えを前提としています。お客さんは一時間数千円とか、数万円払つて、わざわざ相談に来るのですから、占い師はお客さんの波動を上げて帰してあげないといけません。「全吉」を前提として吉凶を分けない、それが奇法なのです。全てを吉に理解するには強い意志が必要です。強い意志がないと間違いなく、否定的になり悲観的になり悪い考え方の中にはまつてしまつて脱出できなくなります。テレビも新聞も書籍も、否定的な波動を出しています。もしかしたら皆さんの上司や経営者までも否定的で悲観的な波動をもつてているかもしれません。だから戦う強い意志が必要です。

■運命学を使うための重要な二点

続いて、ほとんどの人が気づいてない、運命学を使う場合に重要な二点について、説明していきます。まず始めは占い師など、相談を受ける側の人には必要な心構えについて説明しますが、これが一番重要なポイントとなります。

1. 「問題を解決してあげよう」はNG

意外に思う方も多いと思いますが、相談を受ける側は、相談者に対して「問題を解決してあげる」という気持ちを持つてはいけません。ベテラン占い師

など、今まで多くの人から相談を受けた人は気がついているのですが、お客様という人達は、感情と思考が整理されてない状態で相談にやつてきます。実は、悩みを抱えているお客様というのは、ほんどの場合、表面的などころばかりが気になって、「より深くにある問題」が分かってないのです。よく日本の教育の特徴として、子供のころから問題自体を考える脳の訓練が行われない欠点が指摘されます。小学生の頃から、正解がある問題ばかりを解く練習を繰り返しているだけなのです。ですから答えのない問題を解く機会はありませんし、問題を自分でつくることもありません。その結果、日本人の脳は「問題を明確にして特定する」ことに慣れていません。実は、それがお客様の持っている「悩み」の本当の姿なのです。ということは、逆に問題さえ明確にしてあげれば、悩みの半分は自分で解決できるのです。この「悩みとは何か?」とは「問題がわからない?」と同じことなのです。「問題がわかつ

てない」というのがお客様の悩みの本質部分なのです。

・占術家は、相談者自身が問題解決の方法を語るよう導く

ですから占いカウンセラーなど悩みを聞く側の人は、お客様の問題を解決してあげようと思つて「あなたの抱えている問題はなんですか?」というような質問をしてはいけません。相談者は、問題 자체がわかつてないのですから、ストレートに聞いても駄目なのです。お客様は本当の根っここの部分を自覚してないので、その口からは本当の問題からずれた答えしか出てきません。そのため占い師はテクニツクとして、まず世間話から入つていかなければいけません。繰り返しになりますが、相談者本人が、問題点を自覚していないのが「悩み」の正体なのです。ですから悩んでいる人から相談を受ける場合、「あなたの問題は○○○でしょ」という部分を発見することに、鑑定の

エネルギーの九十パーセントを使って下さい。占い師でもカウンセラーでも、相談される側の全ての人間は、ほとんどのエネルギーをそこに集中させなければいけません。

次に「占い産業とは一体何か?」について説明します。占い産業とは、情報を探し続ける側の全般の人間が、自分から情報を求めてくるのです。生年月日からお客様の命式を出して、「ああですよ、こうですよ」と鑑定していきます。お客様は、自分が知らない情報を求めてやつてくるのです。占い以外の情報産業全般にもいえることですが、『お客様の頭には、お客様自身が欲しいと思っている情報しか入ってこない』という事実があります。

2. 「恐怖に支配された脳が凶を探し続ける」

普段の生活の中では、毎日いろんな情報が入ってきます。新聞、テレビ、ニュース、評論家の番組、宗教の教えなど、占いもその一つです。ところが、どんなものを見たり聞いたりしても、結局は「自分が欲しい」と思っている情報しか頭に入つてこないので。例えば映画の感想も人によつて全然違いますし、本を読んでも感想は違つてきます。これは各個人が「欲しい」と思つている情報しか、その人の脳の中に入つてきてないからそうなのです。そして、このことは占い師にとつて非常に重要なポイントなのです。なぜかといふと、悩んでいる人とは「自分こんな情報が欲しい」ということ自体に気づいてない人だからです。また、人の心は不安や恐怖の気持ちに支配されないと、不安と恐怖を発生させる情報が優先的に脳の中に入つてくるようになります。ですから自分自身の心と同じ波動を持った情報しか入つてしまふ。そういう仕組みになつています。

不安や恐怖に支配されている人や、常におびえている人は、目の前にどんなに良い情報があつたとしても、無意識に消去されてしまいます。ところが逆に、何があつても、安心・くつろぎの気持ちで生きている人には、安心・くつろぎの情報が入ってくるのです。ですから前者から後者を見ると、「感覚が鋭い」とか「感性が豊かな人」というふうに映るはずです。

占い師のところに悩み相談にやつてくる人は、必ずといっていいほど、心が不安と恐怖でいっぱいの人です。心が不安と恐怖でいっぱいだから、その人の脳は基本的に、不安と恐怖の情報しか吸収しようとしません。ですから凶になる原因を探し続けるのです。占い以外の分野にも同じ現象があります。例えば経済の場合、新聞は「円高だから日本の会社は赤字になる」とか「製造業で自動車や家電を輸出する会社が大変」などと書きたてて、不安や恐怖感

をあおります。同じように「国債発行残高が八百兆円越えた」とか「借金をわれわれの子孫に押し付けるな」とか「国家破綻する」「日本が破綻する」と言つてゐる学者やアナリストもいます。西暦二千年ごろにはノストラダムスの大予言が流行りました。「西暦二千になると何か起くる」という不安と恐怖をおおりました。

同様に宗教などで、よく使われるテクニックの一つに「水子の靈」があります。流産した子供や、降ろした子供がいる場合「だからあなたは・・・」というたぐいの手法で不安と恐怖をあおるのでです。靈感商法やつてゐる人はこういうテクニックをよく使います。他にも「先祖が救われてない」とか「先祖が苦しんでます」と吹き込むことで不安と恐怖をあおります。ところが水子や先祖の話も、実際はウソなのです。よく考えてみて下さい。先祖を救え

るのは一体誰でしようか？例えば、皆さん的人生に責任を持てるのは誰か？と同じ質問です。皆さんのお父さんお母さんが、あなた自身の人生に責任持てますか？皆さんの子供が、皆さん的人生に責任持てますか？誰も他人の人生に責任は持てません。自分の魂は自分でしか責任をもてないので。ということは、先祖の魂は先祖本人にしか責任が持てないので。子孫は関与できないのです。

もし仮に先祖が救われてない、地獄に行っているとしても、先祖は生きているときに悪いことをして勉強のために地獄へ行つてゐるわけですから、これを邪魔してはいけません。そのままいいのです。それを救おうといふのはただの傲慢です。そういうことを言つて不安と恐怖をあおつてゐるのです。実は占いも同じです。一般的な占いは吉と凶を分けますが、この理論そのもの

が人を不安にしています。「私は運が良いんでしようか？悪いんでしようか？」「この結婚は良いんでしようか？悪いんでしようか？」「来年は良いんでしようか？悪いんでしようか？」そんな質問ばかりです。吉と凶を分けるから、不安と恐怖におちいつてしまうのです。

・五行理論に潜む危険な二分思考

また運命学には、木火土金水の五行を使う相生・相剋という理論があります。木が火に相生して土になり、金になり、水になりまた木となる。この流れが相生です。そして相生が吉といいます。木が燃えて、土になつて金に固まって水を生じて水がまた木を育成する。この流れがぐるぐる回つてきれいだから、良いですよということで吉の関係となります。逆に、木は金から剋されて、木は土を剋して、火は金を剋して、土は水を剋す、こういう関係を相剋といつ

て、これを凶とします。これも五行の相生・相剋といつて運命学の基本中の基本ですが、これも実際のところ、不安と恐怖を生じさせる原理でもあります。

このあたりをよく理解していないと、不安と恐怖に洗脳された人は、悪い奴からみると非常に支配しやすいのです。

「私は罪人である」（私はダメ人間だ）という「思い」は、自分に対する自信（自己信頼）を極端に弱めるので、自分自信の感情や思いに自信が持てなくなるのです。その結果として自分の判断にも自信が持てなくなるのです。「こっちがいいのか？あっちがいいのか？、こっちが安全が？あっちが得か？」こういった発想です。これが恐ろしいのは、恐怖に意識が集中してしまふと、無意識のうちに、しかも瞬間的に一連の発想の結果を招いてしまうところです。ちょっとかがつた言い方をしますと、国とか、国の王様的な立場の人から

すると、国民を不安と恐怖の状態にしておけばコントロールしやすいのです。何かに依存したい気持ちが非常に強くなるのでコントロールしやすくなるのです。詐欺に引っかかる人も同じです。「騙されるのは、騙されたほうが悪い」こんな毒舌を吐く人もいますが、実はこれは本当のことなのです。依存心があると、いいようにやられてしまいます。

・キリスト教の危険な側面

次にキリスト教的な発想について説明します。キリスト教には、全ての人間は生まれながらに罪を背負っているという“原罪”という発想がありますが、実は、もともとイエス・キリストはこういうことを言っていたわけではありません。同様にイエス・キリストが人類の罪を背負って死んだというのもウソなのです。それでは原罪を主張することで、一体誰が得をするでしようか？

「人間はオギヤーと産まれた瞬間に罪を背負つてきた存在である」と言つて、産まれた瞬間から罪の教育をすると、人間は死ぬまで不安と恐怖の中で生きることになります。安心とくつろぎの発想はありません。そういう発想ができないになります。生涯不安と恐怖に脅え、びくびく生きるのです。するとやはり、自分で判断し行動する力が抜き取られてしまい、支配しやすい人間となってしまうのです。

また、よくロシア人は信仰が篤いとテレビなどで言いますが、本当は信仰が篤いのではなく、ロシア人が不安と恐怖で一杯な民族であることの裏返しなのです。ロシア人はロシア正教によつて、自分が罪人であることを徹底的に洗脳しているので、心が不安と恐怖で一杯なのです。ロシアは代々皇帝という王様が大衆を独裁政治で支配してきましたが、これは国民を不安と恐怖に洗脳しておけば独裁政治をしやすいのです。つまり、国民を支配するた

めにキリスト教が使われたのです。

3. 「人生にマニュアルはない」

「坂の上の雲」がNHKのドラマになつて、日清・日露戦争で活躍した秋山兄弟の話が非常に有名になりました。弟の方が、秋山真之という愛媛県松本市出身の海軍の軍人参謀ですが、この人の戦略のおかげで日本は日露戦争に大勝利しました。この秋山真之が『兵理を会得しようとすると、戦史の研究をせよ』といつています。敵の陣形、味方の陣形がどう動いて、どつちが勝つたかということが戦史に詳しく残っているので、そこから戦い方を会得しなさいというのです。歴史を勉強しろと言い残しています。この言葉の「兵理」のところを「運命学」、「戦史」のところを「自分の歴史」に置き換えると『運

命学を会得しようとするなら、自分の歴史の研究せよ』となります。オギヤーと産まれてからの、自分の歴史を研究するのが一番の運命学の勉強になるのです。教官から話を聞くと、意識が啓発され知識も増えます。DVD講座や本を読んで勉強することで意識が啓発され知識も増えます。ただし力は増えません。

秋山真之は「弟子が教官から話を聞いただけでは、知識は増えても、力にはならない」と言っています。それでは、肝心の「力」の部分を増やすにはどうすればいいのでしょうか?それに対して真之は「戦史を自分で研究し、自分で考え、自分で直して使え」と言うのです。つまり、本に書いてあるとおりとか、教官から教えられたそのままでは使いものにならないと言っているのです。最終的には、自分流に直して使わなくては役に立たないということです。自分で研究して、自分で考えて、自分で直すことが非常に重要だと言つ

ているのです。

マニュアル教育に慣れた人が陥りやすい罠として、ある普遍的な公式（つまり変わらない公式）がどこかにあって、それをみつけよう、学習しようという気持ちが強すぎることが見受けられます。どこか既にあるものを発見しようという動機で取り組んでも駄目なのです。本当は自分で公式をつくっていかないと駄目なのです。自分で発見しないと通用しません。実際の場面では使えません。

昔からある日本の剣道とか柔道、茶道など「道」といわれるものが、どうやって習得されるかというと、「**修・反・離**」をもつて道の修得ができるといわれています。これはまず教官や先生について道を修めます。つまり始めは真似

するということです。「学ぶ」ということは「真似る（まねる）」ということ、それが修めることなのです。次に、いつまでも修のままの状態でいては駄目で、「先生ここは違うよ」とか「教官ここは違います。自分はこう思います」というように、修めたものに対して反対する段階が必要となるのです。すなわち、反という段階で自分流が出てきます。そして最後に、完璧に師匠の教えから離れます。師匠から教わった普遍的な公式から完璧に離れて自分流をつくります。自分がけのオリジナルが出来るところまでいかないと、本当の意味で道を修得したとはいえません。運命学の修得も同様です。皆さんに離の段階まで行つてほしいと思います。

そのためフォーチュンソフト社では、今まで正法だけを長くやつてきましたが、今回からは奇法をレッスンしています。それは正法と奇法の両方を修得して、フォーチュンソフトの教えを超えて自分流をつくりあげてほしいと

思うからです。

「恋愛・結婚・不倫」の占い心理学的解決法

『彼氏（または彼女）が私を選んだ理由は？』という相談。特に女性の場合「彼がなぜ、私を選んだのか理由を知りたい？」と相談に来る人がとても多いです。この質問の背後には「あの人は、遊びなの？それとも本気なの？体だけが目的？」という、相談者の「彼の動機を知りたい」という思いが隠れています。『彼氏（または彼女）との別れを防ぐにはどうしたらいいのですか？』これも非常に多い相談です。『彼氏（または彼女）の本音はどこにあるの？』つき合っている彼や彼女の本音がわからないという質問です。『彼氏（または彼女）は今後、私はどうなりたいと思つてているのか？』この質問也非常に多いです。

これらの悩みをみてわかるとおり、ポイントは全部「あの人気持ちは」に意識が向いていることです。そして、これらの質問の答えは決まっています。生年月日は関係ありません。「あの人気持ちは知りたい」という欲求ですから、ということは相談者はあの人（パートナー）を信じてないのです。「あの人信じられない」「あの人を私は信じてません」と暗に言つているのです。こういうパートナーが信じられない状態の相談者とは、自分に自信がない人なのです。ですから、こういった質問が出てきた時点で答えはあの人気持ちから相談者の気持ちへと転換させないといけません。あの人気持ちはばかりが気になるということは「私はこう生きたい」という気持ちが弱いということなのですから。

あの人気持ちは知りたいという質問の根っこにあるのは、実は不安と恐怖なのです。「自分がこう生きたい」という思いが無いから、心を不安と恐怖が

支配するようになってしまったのです。ですから相談者の不安と恐怖を、安心とくつろぎに転換させないといけません。では、どうするのか？ こういう相談者の質問には「じゃあ、あなたはどう生きたいの？」と質問して相談を転換させます。「相手の気持ちを知りたい」という相談者の質問に対しても答える駄目なのです。相談者の土俵にのつてしまふことになるからです。相手の土俵にのつかると相談を受けた側も不安と恐怖に感染してしまいます。ですから、この質問にのつてはダメです。「あなたはどう生きたいのですか？」と質問を転換させるのです。結局「自分の魂は自分で責任を持たないと幸せになれない」ということが結論になるのです。

・男女の相性を見るときの重要なポイント

男女の相性を見るときに、とても重要になるのがお互いに『自立』してい

るかどうかということです。「私はこういう人生を歩む」という自立した考えの持ち主であれば、やはり自立した異性を選びます。こういう人達の関係はお互いに平等です。依存とか頼ることがありません。サラサラとした人間関係をつくります。いざというときは、彼氏や彼女がいなくとも「自分の人生はこうやっていくんだ」というのが決まっているので相手に依存しません。お互い依存しない関係。これが「良い相性」の関係です。

あの人の気持ちを知りたいという欲求は、相談者が自立してない証拠です。相手に依存したい欲求の表れです。そんな依存心を持つた人は、必ず同じような依存心のある異性に出会います。これが「悪い相性」なのです。はつきりしています。私が女性を見る場合も、そこしか注目しません。もちろんスタイルがいい。グラマード、かわいい、それも大事ですが、本当につきあうかどうかという観点からだと違ってきます。**精神的自立**がポイントになります。

す。すなわち、相手がいるとかいないとか、つきあうとかつきあわないは関係なく「自分はこういう人生にしたい」というものを、しっかりと持つている人であればつきあつても大丈夫です。反対に、それをはつきり持つてない女性は怖いです。ですから、つきあいません。自立している同士が相性がいい、自立してない同士は相性が悪い。こう決めてください。ちなみに自立した人と、依存した人のペアはありません。あつたとしても一方的な主人と奴隸の関係となります。

・「私を捨てる人はどんな人?」への四柱推命的応答話法

これも非常に多い相談ですが、これも答えは決まっています。生年月日、命式は関係ありません。相談に来たお客様には、とにかく「自立」「安心」これを与えないといけません。まず結論から言いますが、相談への答えは「あ

なたの長所を認めない人があなたを捨てます」です。長所と短所は同じ歯車なので、長所をひっくり返せば短所になります。この発想はとても大事です。分けない発想で二分思考ではありません。短所＝長所という発想です。具体的に四柱推命の通変星を例に説明します。

通変星という星は四柱推命にはたくさん出てきます。どこを見るかというと月柱天干、年柱天干、月支元命でもいいし、時干でもいいです。その人を見て「ああ、この人比肩だな」と思つたら、そこを採用すればいいのです。だいたいよくあらわれているのは月か年の通変星ですが、そこにこだわって見る必要はありません。では通変星別に説明していきましょう。

比肩・「あなたは『独立したい』という思いを持ち、周囲からの干渉を嫌います。独立というのは長所であり、イコール短所なので、短所は『周囲からの干渉

を嫌うこと』になります。あなたを捨てる人とは、こういう面を認めない人ですから、あなたの独立性を認めない人、周囲から干渉されることを好む人となります。ですから、比肩のあなたを捨てるのは『あなたは私に従わないパートナーだ』と言つてくる異性です』

劫財 「劫財はパワーがあるので、あなたは欲しいものを手に入れます。欲しいものを手に入れるパワーがあります。こういう長所を認めないので、慎重な異性があなたを捨てるでしょう」

食神 「食神のあなたは、おおらかです。おおらかで、ゆるゆるのんびりしています。あなたを認めない人があなたを捨てるのだから、おおらかでない几帳面な異性があなたを捨てます」

傷官 「傷官のあなたは非常にシャープな頭脳を持つています。シャープだから人の欠点をズバリついてきます。それを認めないのでから、ゆるゆるとしたものを感じがる異性はあなたを捨てます」

偏財 「偏財のあなたは社交的です。社交性があるということは、いろんな異性と積極的に触れ合いたい気持ちがあります。そういう長所を認めないのだから、『社会（つきあい）よりもプライベートを優先して』と怒る異性や『残業ばっかりしてないで、友達と飲み会ばっかりしてないで家に帰ってきてよ』と言う異性があなたを捨てます」

正財 「正財のあなたは協調性があります。眞面目で協調性があります。その

協調性を認めないので。『そんなものよりも人生楽しくいきましょう』というタイプの快楽を追求する異性があなたを捨てます』

偏官 「偏官のあなたは改革心があります。改革の星ですから大胆です。大胆で周囲を変えていきますから、周囲を刺激します。そのため、いつも緊張しています。それを認めないのでから、異性からやさしくベタベタされたい人、こういう人はあなたを捨てます」

正官 「あなたは自分を厳しく自己コントロールします。自分を規制します。そういう自己コントロールを認めないのでから、自由気までいたい異性はあなたを捨てます」

偏印 「あなたは面白樂しく、人生に変化を求めて刺激を求めます。単調な生活が大嫌いです。そういう長所を認めないのであから、あなたは捨てる異性は、安定を欲しがる異性です」

印綬 「印綬は学問の星です。あなたは物事を深く考えて理想を追います。だから人気が出ます。それを認めないのであから、あまり物事を深く考えない異性、短慮な異性があなたを捨てます」

こう説明してあげると、お客様の自立と安心の精神が啓発されます。「なぜ自分が捨てられるのだろう?」という自分の短所を掘り下げる発想ではなく、「ああ自分の長所を認めてあげればいいんだ、自分とは縁が無い相手なんだな」と気持ちが切り替わります。お客様に自立と安心を与えることができれば、

相談を受けた側の勝ちなのです。

・「不倫にはまつたらどうするか?」という相談へのアドバイス

これを解説する前に、先ほどの秋山真之の言葉を紹介していきます。占いの占法とか原理や理論を学んでいくと、どうしても理論や手法に重きを置きがちですが、それでは失敗してしまいます。秋山真之は『腹をくくらない状態での戦略には意味がない』と言っています。これは真之がまだ学生時代に、兄の秋山好古から厳しく言われた教えです。ある時、学生時代の真之が下宿で新聞を読んでいると、お兄さんに新聞を取り上げられ「新聞なんか読むな!」と怒られました。「自分はこうやって生きる」という腹も無いのに情報はいらないというのです。これはとてもいいことです。「自分はこう生きる」という腹ができるから、はじめて情報や戦略が活用できます。腹ができるないうちは、

何を勉強しても、どんな情報を聞いてもダメです。

人生には波がありますが、腹ができるない人は、常に「いいときだけ欲しい」という欲求でいます。ですから「悪いときを避けたい、悪いときは嫌だから避けたい、いいときばかりが欲しい」と発想します。こういううずるい発想の人は絶対に腹ができていません。腹ができるいる人とは「いいことも悪いことも全部ひつくるめて、溶かして面倒みよう、責任もつていこう」という気持ちがある人です。その状態になつて初めて情報や理屈が活きてきます。特に、不倫の問題を考えるときには、この発想が重要な役目になります。

まず「不倫」という言葉 자체が道徳・倫理に反しているという響きがあり、漢字の並びがよくありません。これは**被害者と加害者を分ける言葉**です。不倫関係の相談に対する答えも決まっているのですが、まず不倫とか、そういうも

のが罪だという思いを捨てることが先です。不倫は罪ではありません。罪という言葉は、キリスト教が捏造した言葉です。「人間は生まれながらに罪人である。だから教会に従え、だから宗教の指導者に従え」と言つたのがキリスト教の組織です。ところがイエス・キリスト自身はそんなことは言つてません。日本で昔から言われる、やつてはいけないことは「殺してはいけません」「盗んではいけません」このぐらいです。日本の古事記をみても男と女の恋の物語は不倫だらけです。日本の神様は不倫しています。古事記を勉強して、日本の神様の話をしてあげて、相談者から「不倫は罪」という感覚を抜かないといけません。もし罪に対しても不安があるならば、もし不安があるうちは不倫をやつてはいけません。腹ができるないからです。腹ができるないうちはやつてはいけません。

一方で、不倫が罪ではないからといって、実際に不倫を実行してハッピーになるかというと、単純にそういうものでもありません。というのも、男が成長するときには女が必要で、男は女によつて成長します。逆に女は男によつて成長するということがあるので、ここでいう「成長」とは何かということ、「自分の内面に気づくこと」です。これが成長です。そしていい男いい女の第一条件とは、「自分の内面に気がついているかどうか」なのです。つまり自分は何者か、自分の役目は何かを知つている人が、本当のいい男いい女なのです。こういう人は他人の評価を気にしません。世間体を気にしません。常識を気にしません。道徳を気にしません。自分の内面に従つて生きています。だから、こういう人なら不倫をしてもOKなのです。

自分の内面に気がつくには？

では、どうすれば自分の内面に気がつくのかというと、はつきり言いますと、男と女が情を交わし、傷つけたり傷つけられたりして、ゴタゴタの人間関係の中で闘つて、その最中に他人によつて自分の内面に気がつくのです。ですから「どうすれば自分の内面に気がつくの?」への答えは、「人に迷惑をかけなさい、人に迷惑をかけられなさい。そういうゴタゴタを経験して初めて自分の内面に気がつくのです。怖れずにやつてみなさい」です。もし、不倫してみたければやつてみなさい。それで誰かを傷つけると思うなら傷つけてみなさい。もし自分が傷つけられると思うなら傷つけられてみなさい。やれば必ず自分の内面に気ができます。結果、自分の内面に気がついたらハッピーです。自分が何者なのか分かるのだからハッピーです。何もやらないでグジグジ、グジグジ考えている人は絶対にハッピーではありません。

悩む人の「考える」とは錯覚にすぎない

ちなみに「考える」とは何かというと、結果の整理です。やる前からグジグジ、グジグジ考るというのは、「考える」とはいいません。そういうイジイジしている状態は考るとはいいません。「考える」とは、やりたいことをやって、その結果を整理することが「考える」です。結果だから、自分の内面に気がつかないと「考える」とはいえません。「考える考る」とよく相談者はいますが、「そんなに考えていいのなら、自分の内面に既に気がつきましたよね?」ということです。「自分はこういう天命をもつて産まれてきました。十年間迷いなくこれをやります。周りがなんと言おうと関係ありません」という自分の内面に気がついたときに、初めて「あなたはよく考えましたね」と言えるのです。自分の使命・内面に気がつかなければ、何も考えてないと

同じなのです。

・十干別「不倫にはまつたらどうするか?」四柱推命的応答話法

甲・不倫も結婚も全部本気です。遊びとかそういうことにはなりません。全ての男女の恋愛は本気です。しかし自分の役目はいつも考えて知っているので、そんなにひどい結果にはなりません。

乙・甲と同じく、大体どの男女関係も本気です。遊びがありません。ただ相手に依存しやすい傾向があります。

丙・丙も遊びでなくいつも本気です。いつも本気ですが、冷めやすい傾向があります。

丁一 本気とか遊びとかでなく、もともと愛情が地味です。地味とは、愛情が穏やかで、長く燃えるという感じです。

戊一 もともと人が大好きです。だから遊びとか本気とかありません。基本とともに人が好きです。

己一 もし自分がその人に必要とされていると思つてしまふと、その恋に集中します。「自分がいなければどうするんだ」という発想になりやすいタイプです。もちろん本気です。その動機は「必要とされているから」という奉仕的な発想です。

庚一 好きになつたら強引に押していきます。

辛一 もともと男女の情に通じにくいタイプです。知り合いのある辛の社長で、女性と千人寝たことを自慢する男性がいますが、その人をみていて、だからといって女性のことをよく知っていると思えませんでした。ただ寝ただけ。そういう感じで情が通じにくいのが辛です。

壬一 一時的に夢中になります。本気です。しかしバーッとやつて考えて、またパツと変わります。

癸一 あつさりしにくいです。「人に気に入られたい」という性格ですから、どうしても遠慮がちなところがあります。遠慮がちというのは、はつきりいつ

てドロドロなりやすいです。

■ 「あの人は、いい人ですかどうですか？」の占い心理学的解決法

これも答えが決まっています。占いは関係ありません。生年月日は関係ありません。いい人かどうかは「自分の内面を知っている人」がいい人です。これしかありません。「自分の内面を知っている」「自分はこのために生まれてきました」「自分は生涯かけてこんなことやります」という、しつかりしたものを持っている人はほとんどいません。また、そこまではいってないけど、そういう内面を求めて道を求めている人、これもいい人です。

不倫をしても何をしても、仕事で成功しても、仕事で失敗しても、道を求めている人は「なぜそうなったのだろう」と発想します。それを通して自分はどんな役目があるのだろうと、いつも考えています。こういう道を求めている人

はいい人です。いろいろあつたとしても必ずのぼってきます。そして頂点にたどりつけます。道を求めている人は必ず、頂点に行き着くと寛大になります。というのも、道を求めている以上やつてはいけないこともやつてしまふし、いろいろと成功と失敗を経験するからです。自分自身が成功と失敗を繰り返しているので、他人の失敗に寛大になつていくのです。他人の失敗を許せます。だからいい人です。自分の内面を知りたいと思っている人、道を求めている人を別の見方では「宗教的な人」といいます。

間違えないで欲しいのですが、宗教組織に入っている人が宗教的な人ではありません。逆です。宗教団体に入っている人で、宗教的な人は実はあまりいません。宗教の組織に依存している人ばかりで、自分の内面が何なのかを知っている人はいません。宗教の「宗」は己の道を示すということです。示

された己の道を知らないのは宗教的な人ではありません。それで道を求めている人は、勉強するにしても学問するにしても動機が違います。自分の名譽のためには勉強しません。「この学問をすると人の役に立ちそうだ」という気持ちがあるから勉強するのです。道を求めている人は他人のために勉強します。新しい技術を修得する場合も、人のために修得します。資格もそうです。弁護士の資格をとるのも人のためにとるのです。自分のためではありません。ですから、人を判断するときの「いい人」かどうかを判断する場合、まずその人が道を求めている人かどうかを見るのがポイントです。「自分の内面は何なのか?」を求めている人はOKです。

■ 「彼女（または彼氏）の心をつかむには？」の占い心理学的解決法

続いて、定番のタイトルです。これも非常に多い質問です。これも答えは

決まっています。答えは決まつてますが、納得しないお客様が多いです。

実は、このテーマは子供の教育と同じです。心をつかむというのは、子供の心をつかむのと同じです。その答え決まつていて「あの人を信じてあげる」これだけです。子供を育てた方は、実感としてある方もいると思いますが、子供との信頼関係はどこまでも子供を信じてあげることが大事です。

例えばテストで〇点をとつてきた。「それでもあなたを信じるよ」「学校の勉強はできないかもしれないけど、こんないいところがあるんだから大丈夫だよ」と信じてあげるのです。あるいは学校でいじめられて帰つてきても「でも○○ちゃんはこんなにいいところがあるんだから、お父さんとお母さんは信じてあげるよ」と周りの誰もが信じなくとも信じてあげのです。

自分の都合のいい部分だけを信じるのではありません。ある時、ある男性から「片思いの彼女が、ある男と一緒にホテルに行つてしましました。どう

したらしいのでしょうか？」と相談がありました。よくよく話を聞いてみると、相談者の心には「自分が認めることのできない変ちくりんな男とホテルにいた彼女を信じられない」という、口には出さない想いがありました。つまり認められないのです。自分が認めていないあんな男とつきあつた彼女を認めない、信じない、ということなのです。しかし、自分の都合のいい面だけを信じるのでなく、自分にとつて都合の悪いこともまとめて信じてあげることが本当の「信じる」ことなのです。

・「彼女（または彼氏）の心をつかむには？」四柱推命的応答話法

比肩 「あの人は一人ぼっちが嫌いです。寂しいのが嫌いです。だから一緒に行動してあげなさい」

劫財 「あの人はパワーがあるので、好きなことをやりたいと思っています。だったらあの人の好きなことにつきあつてあげなさい」

食神 「あの人はのんびり飲んだり食べたりしたいと思つてます。それなら、あなたものんびり食べたりしてあげなさい」

傷官 「あの人は感性が非常に鋭く、シャープな頭脳を持つています。そのため大体コンプレックスを持つっています。コンプレックスを抱えてますから、どんどん誉めてあげなさい」

偏財 「あの人は社交性があります。つまり社会の役に立ちたいと思つています。社会の役に立ちたいと思っているので『あんなことできるね!』とか言つ

て、一緒にやつてあげればいいのです』

正財・『正財も偏財で同じで、自分の能力を人のために使いたいと思つています。使いたいのだから『困っている人がいたら助けてあげれば』と言えればいいのです』

偏官・「あの人は革命・改革の星なので敵がいます。そのためいつも緊張しています。だから『大丈夫よ、敵がいても勝てるよ』と応援して緊張をといてあげればいいです」

正官・「あの人は周りから評価されたいという思いがあるので、あなたがまず変わりになつて『すごいねえ』と評価してあげればいいのです」

偏印・「あの人は楽しいことを求める星ですが、ただ楽しいことを求める動機が、大体が過去において何か悲しいことを背負っています。だから悲しみを忘れようと楽しいことをやろうとします。だから一緒に楽しいことをやってあげればいいのです」

印綏・「あの人は甘えたい、わがままいたいという子供です。だから甘えさせてあげればいいのです」

結論は「あの人を信じてあげる」ということですが、その前にまず自分で自分を信じることが必要です。「自分は安心だ、自分は大丈夫だ」という自信がないと、人を信じることはできません。ですから、さつきのテーマの

ような質問が出てくるのは、その相談者が自分を信じてないという証拠です。結局、自分を信じてないのです。

■「略奪愛は罪なのか?」の占い心理学的解決法

次のテーマは、最近非常に多いテーマです。奥さんがいる彼氏、旦那さんがいる彼女との恋仲についてです。「略奪愛は罪なんでしょうか?」こういう質問が多いです。まず、こういう言葉（略奪愛）自身が二分思考の罠に引っかかっています。奪う側と奪われる側を分けています。正義か罪かを分ける、被害者と加害者を分ける発想です。もう、この時点でこういう質問をしてきた人は不幸なのです。ハッピーではありません。そういう分ける思考を溶かさないといけません。しかし溶かせといつて溶けるものでもありません。ではどうすればいいのでしょうか?

回答は「奪いたいなら奪いなさい」です。「奪つたらどうなるんですか?」と質問されたときの答えも決まっています。「そういう結果を心配するのならやめなさい」です。つまり、質問がざるいのです。問題は自分の行動に責任を持つかどうかです。自分の行動の全ての結果に責任を持つなら実行してもいいのです。何をやってもいいのです。ところが「責任持たない」という思いや「責任持ちたくない」という思い、「何かあつた場合、結果は自分のせいじゃない他人のせいだ」と考える、こういう発想が凶なのです。

こういう質問をしてくる場合、決意を固めて「やる!」と相談にくる人は「不倫によつて自分の家庭が崩壊する。それはそれでしょうがない。好きになつたんだから。相手にもばれる。自分の家族にもばれる。ばれてもいい」と腹をくくっています。そういう全てに責任を持つ状態であれば吉です。意外とそういう腹を決めた人や、行動に責任を持った人の結果はうまくいつ

ています。うまくいっているというのは、結果的に誰も傷つかずに済んでいます。不思議です。ところが、結果に責任を持たない場合、すなわち、ある相談者に好きな彼氏がいて「彼の奥さんは非常に悪い奥さんで、彼が可愛そう」とか、他人を非難するような言い方や、結果に責任を持ちたくないという発想の人が不倫を実行すると、だいたい結末は凶となっています。

普段の生活をみればわかります。うまくいかないことがあつた場合、何でも他人のせいにする人がいます。仕事がうまくいかないときに、上司が悪い、部下が悪い、景気が悪い、円高だ。他人のせいにするは全て凶です。こういう人はうまくいきません。うまくいかないというのは、奪った人の心はどうなるかというと、奪った結果、「本当はもつと幸せになるはずだつたけど、幸せになつてない…」と不満を言うようになります。奪われた人も「パートナーの裏切りは許せない」と、こんな感じの結末にだいたいなつてます。人のせい

にしています。今回の愛情問題だけでなく、もう生まれてからはずーっと今日までの生活習慣が、うまくいかないことを他人のせいにしている人は結果が常に凶になります。うまくいかないことを自分のせいだと考え、「自分にミスがあるからだ」といつも思っている人は、たとえ奥さんが奪われた場合であっても「ああ私のパートナーにはあの人が必要なんですね」という感じになつて、奪われた本人にも新しいパートナーができたりするのです。不思議なものです。うまくいくのです。

だんだん占い心理学がみえてきましたか？相談者のほとんどは、うまくいかないことを他人のせいにします。そして逆に、ものごとがうまくいくて成功した場合、成功したのは誰のせいかというと、自分の努力でうまくいったというのです。そうではなく「うまくいったのは人様のお陰」「自分だけの

努力だけでは無理だつた」「他人の協力があつたからうまくいった」と、こういう発想が普段からできている人は、だいたい何をやつてもうまくいきます。たとえ世間から見れば奥さんのいる彼氏を奪つた。あるいは旦那のいる奥さんを奪つたとしてもうまくいくてしまうのです。占い師、占いカウンセラー、占い指導員などは、お客様をこの状態にもつていくことです。「もし、うまくいったとしたら、あなたの努力もあるけど人様のお陰だよ」と相談者に発想させる癖をつけることです。結果がうまくいかない場合でも、絶対に他人のせいにはしない、「うまくいかないのは全部自分の責任ですよ」「全ての行動に責任もちなさい！」と結論づければ、必ずお客様の波動が上がります。

「前世と現世、仕事と結婚」の占い心理学的解決法

■「この恋に飛び込んでいいですか?」という相談

とにかく相談者には、どんなケースであつたとしても、最終的に自立と安心感を与えるなければいけません。それが占い師、占いカウンセラー、占い指導員の目標です。ですから、この質問への答えも決まっています。生年月日は関係ありません。結論から言いますと、「相手を信じるなら飛び込みなさい。相手を信じられないならやめなさい」です。この答えの大前提として「相手を信じられる人は、まず自分を信じている」ということがあります。「自分でOKだ」「自分の抱えるリスクはOKだ」「たとえ失敗してもなんとかなる」といった自信があります。自分を信じている人は、相手も信じますが、逆に「あ

あ、ああなつたらどうしよう、こうなつたらどうしよう」と自分を信じられない人は相手も信じられません。

自分を信じられない人へのアドバイスは、嫌でも無理でもいいから「とにかくやってみなさい」しかありません。結果はどうでもいいのです。結果がどうあれ、いろいろなことを通して、自分の内面の発見につながるのです。今の時代は、自分一人で座禅組んだり滝に打たれたり、山にこもって修行しながら自分の内側を発見する時代ではありません。他人との人間関係によつて、初めて自分の内側が発見できる時代なのです。だから、どんどんやりなさいということです。自分の内側の発見のために、その恋を経験することが必要なのです。

・四柱推命的応答話法

男女の相性を見るときは、正法では「通変星が比肩だつたらこうで、劫財だつたらこう」という話しをしますが、実際の相性では使えません。実際に四柱推命理論では最高の相性だつた妻と離婚になつたのは筆者自身が断言できます。正法では、自分と相手の日干同士の通変星を出して鑑定しますが、このパターンに縛られると相性は分かりません。日干と月支元命をみてもいいのです。月支元命と月支元命をみてもいいのです。月柱天干と月柱天干をみてもいいのです。年柱天干と年柱天干をみてもいいのです。何十パターンもあるので、自由にその場でつくつて下さい。では『この恋に飛び込んでいいですか？』を通変星で説明します。

比肩 「あなたに、いきいきとした生命力が沸いてきているなら、飛び込みなさい」

劫財 - 「あなたは、とにかく恋に集中、熱中しないといけません」

食神 - 「あなたは、ゆつたりまつたりとした恋の交わりを味わってみなさい」

傷官 - 「あなたは理屈っぽい人ところがあります。相手を傷つけたり、相手から傷つけられたりしますが、傷つけあいながら愛し合ってみなさい」

偏官 - 「あなたは革命、改革の星ですから、この恋によって自分の人生の課題が発見できるから経験してみなさい」

正官 - 「あなたはとにかく相手を助けてあげなさい」

偏印 - 「その恋によつて、あなたの精神世界が広がるので経験してみなさい」

印綬 - 「あなたはお母さんの星ですから、甘えさせてあげなさい」

このように説明すればお客様に安心感を与えることができます。

■「恋によつて何を学ぶのか?」

ちよつとタイトル変えてみます。お客様は「恋がうまくいきますか? うまくいかないですか?」とよく聞いてきますが、正面から答えないで「あなたはその恋によつて何を学ぶ必要があるのでしょうか?」とお客様の頭を切り替えて下さい。相談者の四柱推命の通変星を出して、その恋によつて学

るべきものを言つてあげればいいのです。そして、命式のどこを観るかですが、まず相談者を十分くらいい觀察していけば、だいたいの性質がわかります。月支元命が作用している人、月柱天干が作用している人、年柱天干が作用している人、時柱天干が作用している人、だいたい話を聞いているとどこの部分が作用しているかがわかります。その部分を言つてあげればいいのです。それでは『恋によつて何を学ぶのか?』を変通星を使って説明してみます。

比肩 「あなたはその恋によつて自立することを学ぶのです」

劫財 「あなたはた自己主張が強すぎて、必ず恋人とけんかになります。意見の違いは生まれ育つた環境、家庭環境に大きな原因があります。これが意見の違いになることが多いです。あなたとパートナーの生まれ育つた環境が違う

と、当然意見や発想が違つてることを学ぶために、この恋が必要です」

食神 - 「あなたは友好関係が恋によつて広まることを学びます」

傷官 - 「あなたは感性が鋭くシャープです。正直にものを言うことが、どれだけ相手を傷つけるのかを学びなさい」

偏官 - 「あなたは愛したい気持ちと憎らしい気持ちは、実は同じエネルギーなのだと学びます。『好きだ好きだ好きだ』という思いは、ひっくり返るとあつという間に『嫌い嫌い嫌い』になることを体感するのです」

正官 - 「あなたは、たとえその恋で『失敗した、変な人を好きになってしまった』

と思つても、どんな人からも学ぶことがあることを学びます」

偏印 - 「あなたは、この恋によって、より深い精神世界のことを学びます。気が
がります」

印綬 - 「あなたは相手に甘えたい依存したいという、自分自身の依存心に気が
つきます」

このように解説しながら、相談者に自立と安心感を与えることがポイント
です。

■ 「結婚生活より仕事を優先させるとどうなる?」 四柱推命的応答話法

次に、「二分思考」の罠にはまるど、どんな悩みが発生するか事例をあげて説明していきます。二分思考とは「良い」と「悪い」とを分ける発想です。例えば「結婚生活と仕事を分ける」発想をすると、「結婚生活を犠牲にして仕事を優先させるとどうなるのか?」という思いになり、さらに「結婚が優先か?仕事が優先か?」こんな悩みが発生します。実際は、この悩み自体が間違っているのです。本当は、こういう悩みは存在しないのです。結婚と仕事を敵対関係に置く発想のままでは、必ず運が下がります。波動が下がります。うまくいきません。それが、具体的にどううまくいかないかは通変星で表現します。

比肩・他人と比較してから行動するという気持ちでは、何事も自分を見失いがちになりますまいかないです。二分思考では、職場でもうまくいかないし、

家庭でも人間関係がうまくいきません。

劫財 熱中し過ぎる面があります。職場でも周りの意見を無視して反発される。家庭でも何かに熱中して「私の言うこときかないのね」と反発される。どちらからも反発される。二分思考の脳でいる間はこうなります。

食神 自分が目立ちたいだけになりがちです。家庭生活でも同じように「自分の意見ばっかり言って私のいうこときいてくれないのね」となります。

傷官 非常に鋭い感性を持つてるので、他人を批判します。職場では上司、部下、同僚を非難し、家庭では配偶者を非難します、あるいは子供を「勉強ができない」とか非難します。

偏財 - 「全て任せて」というタイプです。二分思考になると、全部自分でやつてしまい部下を信用しない人になります。家庭でも「大きな買い物でも一人で勝手に決めてしまう」などと反発されます。

正財 - 何でもコツコツ我慢してやりますが、職場で本当のことが言えません。仕事の悩み、失敗を上司に相談できなくなります。家庭でも配偶者に言ったくないことを隠すといった感じになります。

偏官 - 新しいものに変えるという意味があり、今までのやり方に飽きてします。だから会社では今までの会社の伝統とか、先輩のやり方に飽きて、非難して勝手に変えようとする奴と思われます。家庭では、安定した家庭の生

活に飽きてしまうようになります。

正官 人に従うという意味があり、会社では嫌な上司に無理に従つている。納得してないまま仕事をやつてしまします。家庭においても嫌な配偶者に、無理に従つている、となります。

偏印 もともとアイデアが豊富にありますが不安定です。職場ではアイデアを出しますが、それがちつとも実現しません。心情的に不安定にもなります。家庭でも「きちんと家事をしてよ、給料を毎月入れてよ」とこんな感じになります。

印綬 学問とか好奇心という意味合いですが「思いつきで仕事やつてるんじや

ないの?」という感じになります。家庭においても「将来の計画が無い」などと言われてしまします。

このように結婚と仕事を分けて考えるという一分思考にはまつてしまふと、通変星の悪い面が仕事にも結婚生活にも出ると理解して下さい。実際のところ、仕事のできる人は家庭もしつかりしているものです。仕事ができて、家庭が駄目という人を見たことがありません。何故かとすると、家庭の面白さ(特に子供から受ける刺激)と、仕事から受ける面白さや刺激とではどっちが強いか、どっちがより面白いかといえば、明らかに家庭だからです。子供は毎日変化します。毎日進化します。毎日問題を起こしますから、その対応を考えていると非常に面白くて刺激的なのです。仕事は組織の中での役割が限られますので、面白さはそれほど強くはありません。こう考えてみると、家庭をしつ

かりできない人は仕事はできません。なぜなら家庭のほうが面白いし刺激的だからです。それを発見できないのに、仕事の面白さや刺激がわかるはずありません。もう少し言えば、仕事の管理ということがありますが、部下とかスケジュールの管理はどこからくるのかというと、実は自分の管理の延長なのです。自分の生活の管理、自分の感情の管理、自分の人生設計の管理のノウハウが、そのまま家庭の管理になります。その延長が仕事の管理、仕事のチム全体の管理となつていくのです。ですから、仕事ができて家庭が駄目だというのではありません。全てがつながっています。だから「結婚生活を犠牲にして仕事を優先させるとどうなりますか?」という質問自体が間違いなのです。すでにもう失敗しています。仕事も結婚も両方うまくいかず、「どちらかがうまくいくか、仕事も結婚も両方駄目かのどちらかなのです。ですから実際の相談を受ける場合、「どちらもうまくいきますよ」と言つてあげましょう。両方うまくできると思わ

せることです。そうしないとお客様の運が下がります。

■「結婚生活より仕事を優先させるとどうなる?」ホロスコープ的応答話法
次に同じ相談を、ホロスコープの中心星（支配星）を使って解説します。ア
スペクトの一番多い星を中心星、支配星といいます。

太陽・結婚生活にも仕事生活にもエネルギーを注ぎます。注ぐ能力があります。

月・仕事・結婚どちらも情を中心。情関係です。結婚生活でも情関係、仕事で
も人と人との情関係がよいはずです。

水星・どちらも計画的で手順がいいです。仕事も結婚も中立的です。片一方

が手順よくて片一方が手順悪いことはありません。

火星・闘争心ですから、仕事では戦いでやりますから、競合他社と戦つて実績を出せます。勝てます。そして家庭では戦いではなくて、これは性欲どどります。性欲が満足できるきちんとした家庭生活です。

木星・信頼とか信用です。会社では信頼・信用があり重宝されます。家庭でも配偶者や子供から信頼されます。

土星・困難とか苦労の意味合いです。仕事・結婚どちらも楽ではありませんが、苦労を楽しみに転換できるはずです。人間が、楽しいと思う瞬間というのは「ちよつと自分自身が成長したな」と感じる瞬間です。家庭でも配偶者や子供

を通じて人間的に成長します。仕事でも苦労を通して成長します。

天王星 - ひつくり返すという星です。仕事で上司の意見に反発して、今までのやり方をまるつきり変えたりして反発されますが、新しいことをやります。家庭においてもちょっと普通の家庭ではないことをやります。仕事でも結婚でも新しい何かをやります。

海王星 - 夢みる星です。仕事は大きな夢を抱いてやります。家庭でもロマンチックで楽しい家庭を築きます。

冥王星 - 強引です。仕事では、あなたしかできなことがあります。そういう仕事をまかせられたら多少強引にやつてもOKです。家庭ではやはり、あ

なたしかできない強さが求められることがあります。そのときにはあなたの能力が生きます。

相談を受ける側は、決して「結婚生活と仕事、どちらがその人には向いているか?」と発想しないことです。両方いいか、両方とも悪いかのどちらか一方です。ですから家庭も仕事も両方よくしてあげることです。結論は「仕事と結婚どちらもよくしてあげる」と確信して、占いを上手に使ってアドバイスして下さい。

■占い専門家がはまるワナ

運命学や占いで、ある型とかパターンについて説明すると、それがまるでただひとつ真理のように、型に固執する場合が多くみられます。型にはまつてしまふことがどれだけ、恐ろしいことなのか?ちょっと目線を変えて日清・

日露戦争のときの戦術を例に「型」について説明します。戦争の「型」が生まれたのは、日清・日露戦争のときです。型の無かった時代に秋山真之が型を発明しました。当時は軍艦の保有数、兵の数などの物量で日本は圧倒的にロシアに負けていました。「弱者の日本が強者のロシアにどうすれば勝つのか?」というところから型や戦略を発明しました。日露戦争の日本海々戦では秋山真之率いる海軍が、ロシアの戦艦を全部沈めてしまいました。大勝利しました。このときに一つの型を発明して大勝利したのはいいのですが、これ以降、日本軍全体が、型に固執するようになってしましました。そのため軍人はどういう人が出世するかといえば、型を多く暗記した人間が出世するようになりました。いわゆる秀才です。こういう人が軍隊で出世していました。なんとなく今の日本の官僚制度に似ています。東京大学の法学部に入つて国家試験の上級に通つて官僚になるという、このパターンの最初の事例です。型を

多く暗記した者が参謀官になるのが、習慣化しました。

これを心配したのが型を発明した秋山真之本人でした。真之は「型がうまれ、型に固執するとやがて型とともに滅びる」と言つて死にました。そして日本は型によつて滅びるだろうとも予言しました。アメリカ相手と戦争するかもしれないともいいました。なぜかというと「型に固執して戦争をやれば勝てるんだ」と傲慢になつてゐるのがわかつたからです。「日本は神の国だから負けない」という信仰みたいなものが産まれていたので、それを真之は心配したのです。日露戦争に勝つたのは、弱者の日本が強者のロシアにビクビクしながらも必死になつて、勝つ戦いではなく、負けなければいい戦いだと発想したうえで、必死に考えて型を生み出して勝つた戦争でした。ところがいつの間にか日本は「型を修得しているので勝てる」と傲慢になつてしまい、そのままアメリカ相手にも勝てるとおかしな発想になつてしましました。

当時この考えをミスリードしたのが新聞です。当時のメディアです。当時の新聞は「日本は無敵」と書いていました。國民もそれを信じました。メディアはいつの世もそうですが、良心を刺激しません。ただ恐怖を煽るだけです。新聞はただ煽るだけ、テレビも煽るだけ。戦争を煽っています。戦争を煽つたから太平洋戦争になりました。日本人は有頂天になりやすいです。実は有頂天になりやすいということは、超悲観的にもなりやすいのです。このことは現在も同じです「少子高齢化で将来がない」「円高でトヨタが赤字」「消えた年金はもらえない」メディアは悪い情報ばかりを流します。心配や恐怖を煽つているのです。日本人全体が洗脳されています。日本人はこういう特性を持っていることをよく理解して下さい。今のままならば、仮にこれから十年後バルが来て景気よくなつても日本はまた失敗します。また海外から足をすくわれます。

■ 「前世でどういうことをしていたのか?」四柱推命的応答話法

『型が生まれ、型に固執し、型とともに滅びる』を解説したあとで、まつたく関係のないと感じる前世の話しをします。とにかく前世とか言うと、過去の出来事なので、変えられない宿命と思われがちで、不安と恐怖を抱く人も多いです。しかしどんな場合でも、お客様には不安と恐怖を与えない回答をしなければいけません。安心と希望を与えなければいけません。もし不安と恐怖を与えてしまうと、相手は本当にその通りになってしまふからです。テクニック的には、前世を見る場合、四柱推命の年柱の天干の通変星をみると当たります。ただこれも一つの型なので、このとおりにやらなければいけないものではありません。皆さんが独自に発明してもかまいません。通変星は価値観をあらわすので「あなたが前世にどんな価値観で人生を歩んできたか」

が答えとなります。では具体的に説明していきましょう。

比肩・前世のあなたは独立と競争に明け暮れた人生ですね、だから現世は
ちょっと意地つ張りです。独立したり競争したりは当たり前にできます。もし
相談者が「自分には独立・競争が出来ない」と思っているなら「前世で散々
やつてきたことだからできますよ」と答えればいいです。

劫財・とにかく無茶苦茶、熱中した人生でした。ちょっと欠点が出ると、やり
すぎの一面がありました。もし相談者が「熱中できることがありません」と
言えば、「前世でさんざん何かに熱中してきた人だから、そういう何かに出会
えば簡単に熱中できますよ」と答えればいいです。

食神－自由と平和を愛します。欠点が出るとちょっとダラダラしてしまうところがありました。「そんなに自由と平和を求めて生きてませんよ」と言われたら、「前世では間違いなく自由と平和を求めて生きてきたから、このぐらいはやれば当たり前にできますよ」と言えばいいです。前世でやってきたことは努力しなくともできると言つて下さい。

傷官－才能をとにかく周りにアピールした人生でした。そういう感じですから、他人に批判的で心に傷を負わせることがありました。相談者が「そんなに才能ありませんよ」と言つたら「前世では間違いなく才能があつたんですから、得意な分野があるはずですよ」と答えればいいです。

偏財－とにかく何でもやつてみないと気が済まない冒険的人生でした。反面、

欠点がでると危なつかしい一面を持つ人でした。

正財 - 誠実で周りから信頼された人生でした。信用ある人物でした。ちょっと欠点が出ると、誠実すぎて慎重になり過ぎるところがありました。

偏官 - 周囲を巻き込んで改革する正義あふれる人生でした。まわりをどんどん引き込んでやつていきますが、ちょっと好き嫌いが激しい人生でした。

正官 - 自制心が強くまじめに生きてきた人生でした。しかし、反面リスクを取りらずにあきらめたことも多い人生でした。

筆者の場合も正官が年柱にあるで、いわゆる大企業のサラリーマンでも当た

り前にできると思つてます。しかし実際は大企業のサラリーマンを二回、三回と転職しましたので、現実にはできていません。それは大企業の管理職にふさわしい人物が上司にいなかつたからです。まことに自分に都合のいい解釈でしよう。それでいいのです。自分の波動、相談者の波動が下がらなければそれが魂的な観点から言うと正解なのです。いい上司がいないといいサラリーマンはできません。いい課長いい部長がいて、はじめていいサラリーマンとしてやつていけます。しかし筆者が勤めた会社にはいい課長、いい部長がいませんでした。「だからサラリーマンができなかつた」と思えばいいのです。何も方程式の発想で「正官があるから大企業のサラリーマン勤まります。しかし勤まりませんでした。じゃあこれは間違つてるんですか?」こういう発想ではダメです。本当は勤まるけど、サラリーマンはいい上司がないと不幸だから、やめたんだと思えばいいのです。

偏印－好奇心旺盛な人生でした。欠点は夢をみすぎたところでした。

印綬－学問・研究の人生でした。欠点をは誰かに依存した人生でした。

前世を四柱推命的に通変星で説明するならこのぐらいが適当です。

■「前世でどういうことをしていたのか？」四柱推命的十干別応答話法

続いて年柱天干の十干を使って解説しますが、結論は相手に不安と恐怖を与えないといいのです。そして「どんな人でも年柱天干のことぐらいは当たり前にできる」と思つて結構です。

甲 - 曲がったことが嫌いな人生でした。

乙 - 自分が好きな人をサポートした人生でした。

丙 - 夢中になつて何かを求めた人生でした。

丁 - 人に優しくした人生でした。

戊 - 忍耐強く生きた人生でした。

己 - 周囲の人と沸きあい楽しく過ごしてきた人生でした。

庚 - 自分の信念を貫いた人生でした。

辛 - 試行錯誤を繰り返し、完璧を求めた人生でした。

壬 - 激しい時代の変わり目で、常に先々を読んで生きてきた人生でした。

癸 - 何でも器用に過ごした生でした。

古典的には日柱天干が「自分」といってますが、それにこだわる必要はあ

りません。

■「前世でどういうことをしていたのか?」四柱推命的十二運星別応答話法

続いて十二運星を使って解説していきます。とにかく長所と短所を分けて考える発想はよくありません。長所の裏返しが短所ですが、長所も短所もまとめて溶かす発想がないとカウンセリングは難しいのです。長所と短所を分けて考える二分思考は、この二つを敵対関係に置いてしまう発想です。これは相談に来た人の波動が下がってしまいます。敵対関係の発想だと波動が下がってしまうのです。古典的な四柱推命や紫微斗数推命も皆そうですが、鑑定した結果、五行の強弱を出します。そして喜ぶ神と忌む神を出します。喜ぶ神だと長所が出て、忌む神だと短所が出るといいます。そのため必死になつて、○(マル)×(バツ)や吉凶を出します。しかし、実際は○だから長所

しか出ないとか、×だから短所しか出ないかといえは、絶対にそんなことはありません。長所も短所も両方出るのが人間です。こういう従来の正法では、実際のカウンセリングには全く使えません。それでは、以上の内容を踏まえた上で、十二運星を例に敵対関係にある長所短所を溶かしていきます。地頭を良くする発想の訓練です。

胎・独自のやり方で生きた人生でした。独自の方法でやるので、周りのやりかたは全ておかしいと思ってました。そのため不満が多くなった前世だったかもしれません。

養・じっくりと誠実に生きた人生でした。じっくりとやるので時代の変化になかなかついていけなかつた前世だったかもしれません。

長生 - おだてると、どこまでもやつた人生でした。反面、だまされやすかつた前世だつたかもしません。

沐浴機を見るに敏、新しもの好きでたくさんの経験をした人生でした。飽きつぱかつた前世だつたかもしません。

冠帯 -ええかっこして、スマートな人生でした。反面、面子にこだわって、損したこともありそうです。

建禄 - 文字通り筆を立てるよう完璧に無駄なく計算して生きた人生でした。反面厳格すぎたこともあつたようです。

帝旺 「はいご飯、はいお茶、はい風呂」というのが帝旺ですから、のんびりと生きた人生でした。反面、一旦勢いがついたら軌道修正ができずに、金銭面では苦労したかもしれません。

衰 過去の経験を無駄にせずに落ち着いた人生でした。反面、感情表現が乏しかつたかもしれません。

病 いつも心配していて非常に目の前の変化に目敏い生き方でした。反面、いつも心配し落ち着かない人生でした。

死 秩序とルールを重んじた人生でした。反面、新しい流れに乗れなかつた

ようです。

墓 - コツコツと生きた人生でした。反面、古い習慣にこだわりやすく、いつまでも古いやり方でやつたようです。

絶 - 毎日のように変化して夢想的な生き方をしました。反面、安定しないことも多かつたようです。

以上の内容を、そのまま暗記するのではなく、あくまでも自分の脳で長所と短所を敵対関係に置かず、溶かして理解することです。溶かしてイメージ的に理解する訓練です。そうでなければ、実際にお客さんをカウンセリングして、プラスの波動にして帰つてもらうことができません。

■悩み 자체が虚偽

次のテーマです。悩みが間違っている例について説明します。よくある悩みで「どうしたら結婚できますか?」という相談がありますが、ほとんどの場合、こういう質問 자체が間違っています。実際は、結婚したくないから結婚しないだけです。本気で結婚したい人はほとんどいません。例えばフォー・チュンソフトでは国際結婚の斡旋もしています。中高年の男性にフィリピンの女性を紹介しています。そこで百人以上の面接をやつてきましたが、実際にお見合いで行こうという人は百人中何人いるでしょうか?だいたい百人いたら五人くらいです。本気で結婚したいなら、交通費を含めてお見合い費用が約十五万です。百人来るなかで実際にお見合いにいくのが五人、その中で実際、結婚までいく人が何人いると思いますか?だいたい一人くらいです。

後の人達はダラダラお付き合いはしますが、結婚までいきません。なぜ結婚しないのか聞いてみると、ほとんどの場合「親が反対する」「親戚が反対する」「世間体が悪い」「外国人と結婚するわけにはいかない」と言います。結婚しない理由を他人のせいにするのです。「どうすれば結婚できますか?」と来ますが、本当に結婚したい人は実はわずかなのです。

・フォーチュンソフト社に結婚相談に来た女性の本音

女性の場合も、今まで結構相談がありました。そういう場合、まず当社では「任せて下さい。当社が無料で探してみましょ」と提案します。フォーチュンソフト社のHPは一日に約二百から三百人のアクセスがあるので、月に一万人は見てています。そのHPのトップに「花嫁さん募集」と出してあげます。毎月一万人の人達がみます。三ヵ月で三万人です。三万人みれば「あな

たと結婚したい」という人がでてきますから、そうしたらお見合いしましょう、と毎回提案しています。女性にそのように提案しますが、すると何人が「ではやつてください」と言うと思いますか？実は0人です。コスト0円なのに、こちらで写真を撮つて、プロフィールも書いて無料でやつてあげましょうと言うのに「やめて下さい、とんでもないです」と言うのです。どうしてかと聞くと「恥ずかしいから」と言います。すなわち結婚したくないのです。本当に結婚したいなら腹をくくつてるでしょ？「結婚したい！」という腹ができるないです。腹ができないのに「ただなんとなく、世間体が悪いから」とか、つまらない理由で質問くるのです。

ですから占い師、占いカウンセラー、相談者はこういう相談に対し、まともに答えては駄目なのです。ほとんどの場合、悩みがウソです。ウソを見抜くには「やつてあげましょう。ＨＰにのせてあげましょう。そうしたら三ヶ

月以内にお見合い相手が現れますから、任せて下さい」と試しに言つて下さい。ほとんどの場合、「やめてくれ」といいます。こんな質問にまともに乗つてはいけません。

■「どうしたら結婚できるか?」四柱推命的応答話法

以上の内容は奇法ですが、正法を使つてまともに答えるとどうなるかを解説します。この場合、通変星は月支元命を見るほうがいいです。もしくは月柱天干でもいいですが、月支元命のほうがいいでしょう。

比肩 - 「あなたは協調性がないですから、そこを改めると結婚できます。」

劫財 - 「あなたは浪費癖があるので、しつかりお金を貯めれば結婚できます」

食神「あなたはちょっとだらしないので、几帳面な生活をしたら結婚できま
す」

傷官 - 「あなたは人を批判するので人の悪口を言わないようすれば結婚できます」

偏財 「あなたは社交性がありすぎて、いろんな異性と付き合いすぎるのに、一人だけの異性にしたら結婚できます」

正財 「あなたは少し窮屈な生活をしますから、もう少し異性に対してもオーブンに気楽にお付き合いする気持ちになれば結婚できます」

偏官 - 「あなたは、非常に緊張感を相手に与えるので、リラックスして、落ち込んでいる人に優しく声をかけてあげれば結婚できます」

正官 - 「あなたは、もともと相手につくす星ですから、あなたの身の回りにあなたが近くしている人がもういますよね」

偏印 - 「あなたは、いろんなことをやりたい快樂主義ですから、ちょっと生活を安定させるようにすれば結婚できます」

印綬 - 「あなたは、学問好きで理想を追い求めるのはいいですが、あまり理想を追い求め過ぎないで、現実をみつめれば結婚できます」

これが正法でのアドバイスですが、これを使つても相手の土俵に乗るだけで相手の本当の問題点はわかりません。最初に説明したように、相談とは「問題点がわからないこと」なのです。結婚できないことが問題点ではありません。「本当は独身でいたい」という思いが隠れているのです。ですから、なぜ相談者は独身でいたいと思うのか、根っここの部分を発見しなければ、その相談は解決はしません。

「占いビジネス」「結婚」「セックスト」のお悩み解決

■ 「どうすれば占いビジネスで儲けることができますか?」

よく占い師や占いカウンセラーなど、人から相談を受ける立場の人から「どうすれば、占い的なビジネスで儲けることができますか?」と質問されますが、そのことを解説していきます。

・第一のポイント 「嫌だと思うことはやらない」

まず、一番目に気をつけて欲しいのは「嫌だと思うことはやらない」ことです。例えば、ある商業ビルでお店をやつしていく、近くのテナントが非常に儲かっているとします。そして、その真似をして自分もやりたくなりました。ただその看板のつくり方、音楽の流し方は自分の好みではありません。

また、お客様を集めているところが靈感的な占いを売りにしていると聞いて「私もそういう看板を真似てやつたほうがいいんでしょうか?」と質問

されることがあります、それでは駄目です。そのことを「好き」と思つていればいいですが、「嫌だ」と思つていれば駄目です。嫌なことをやつてはいけません。「嫌だけど・・」と思つたままやつてしまふと、嫌な顔や苦しい顔をしてお店にいることになつてしまふ。お客様はそんな嫌な顔や、苦しい顔をしているスタッフのところには寄つてきません。自分が楽しくなるような看板、音楽、雰囲気をつくるのがいいのです。儲かつてゐるからといって、他人の真似をする必要はありません。

・第一のポイント「また来たいと思わせる魅力」

次の重要なポイントは「また来たいと思わせる魅力」が必要です。占い師でも占いの盤を出して、それを丁寧に説明すればお客様が満足すると思つてゐる方も多いと思いますが、実際はそうではありません。お客様“とい

うのは、自分の質問したい本当の問題をきちんと定義できていない状態で相談に来ます。本当の自分の問題が分からぬ状態でできますから、持ちかける悩みを、そのままストレートに解こうと接客しても駄目なのです。それよりも「この人だったらなんだか知らないけどまた会いたいわ」という魅力を發揮するよう努めて下さい。

・第三のポイント「高額商品を一つ用意する」

三番目は意外と思われるかもしれないですが『高額商品を一つ用意する』です。印鑑なら十万円、水晶なら二～三万円とか、何でもいいですが、高額商品を一つは持つておいたほうがいいです。というのも、人は生涯の中で、どういう人が印象に残るのかといえば、一番印象に残るのは一番高い買い物をした営業マンの顔なのです。筆者の場合、住宅を買ったときの営業マンです。

彼は住宅メーカーを辞めていますが、未だに顔を覚えていましたし、未だに年賀状のやりとりしています。決意して何千万という商品を買って、何十年間もローン組むわけなので、そういう営業マンは記憶に残ってしまうのです。あるいは新車を買ったときの営業マンは皆さんも多分覚えていると思います。ですから、長くつき合いたいと思うお客様がいる場合、高い値段で売れる自信のある商品が一つでもあるといいのです。

■「いつ結婚できますか?」四柱推命的応答話法

次のテーマは『いつ結婚できますか?』です。奇法の訓練として考えてみましょう。「いつ結婚できますか?」この答えはわかりますか? 答えは「すぐにもできます。本当に結婚したいのであれば今すぐにでもできます」です。占いを使ってできない言い訳でなく、できる言い訳だけを説明します。具体

的には年運をみます。今年の運、来年の運でもいいですが、すぐに結婚できる根拠を説明したほうがいい場合に使います。

比肩・劫財 - 周囲からのすすめで結婚ができます。

食神・傷官 - 気持ちがゆるむときなので、今の仕事がひと段落して、ゆるんだときに結婚の出会いがあります。

官星（正官・偏官） - 相手から自分が支配されることですから、異性から惚れられる、一方的に相手からよつてこられるという状態で、結婚できます。

財星（正財・偏財） - 官星の逆です。相手を支配するのですから、自分から異性に寄つていきます。寄つて行きくなつて結婚できます。

印星（印綬・偏印） - 一緒にいると楽しい異性があらわれます。楽しい延長で結婚します。

絶対に、結婚できない言い訳はいってはいけません。続いて、より深い心理的なところをつつこんでみましょう。

■ 「あなたが独身でいた理由は?」の占い心理学的解決法

タイトルを少し変えて「あなたが今まで独身でいた理由はなに?」というテーマで解説します。「独身でいた」という理由も実は答えは決まっています。答えは「独身でいたいから」または「独身のほうがいいと思ってるから」です。独身のほうがいいと思っているから独身なのです。もう少し心理的に説明します。独身がいいということは、同じ屋根の下で誰かと暮らす共同生活に自信がないということです。この共同生活に自信がない思いを突き詰めると「相手の言葉とか、行動を許せない」という思いがあつて、それが無意識に不安

につながっているのです。更に、相手を許せないということは、最後には結局、自分自身を愛せてないのです。

自分が許せないのは、はつきりいつて自分が嫌いだからです。自分が好きではないのです。自分が許せません。今の自分が許せません。自分が許せないから相手も許せません。相手の欠点を認められないから独身がいいのです。ですからこの相談には「自分が嫌いな理由」を占いを使ってカウンセリングするという手法を使います。まれに、こういうパターンでなく、仕事を立派にやりすぎて成功しすぎて権力を持つてしまつた人（特に女性の場合）、自分のスタッフを持つてしまい自由自在に組織をコントロールできる場合は、この権力の甘い罠にはまつてしまい、独身のほうがいいというケースもありますが、これは今回のテーマのパターンには入りません。

例えば三十代半ばになつてスタッフを四・五人かかえ、スタッフを自由自在

に支持して実績をドンドンあげていくと組織のトップに認められます。結果、権力も持つてきます。その気持ちよさや感覚を味わつてしまつた人は、今更結婚という気になりません。こういう人が稀にいますが、ただそういう人は占いカウンセラーとか占い師には絶対相談に行かないですし、占い的なものにも関心を持ちません。自分に自信があり、今の自分自身で満足しているからです。

・「自分が好きになれない。自信が持てない」の四柱推命的応答話法

では「自分が嫌いになる理由」という悩みを四柱推命の通変星を使って説明します。使うのは月支元命でも、月柱天干でもいいです。その人と話していくうちにわかつてきますから、それを使って下さい。（その人の命式にある通変星を使う）

比肩 「あなたの持っているのは、やりたいことをやる星です。本来やりたいことをやる人です。やりたいことがあるのに、やる勇気がなかつたのでやらなかつた、という状態では当然自分が嫌いになります」

劫財 「あなたは本来、夢中になつて何かをやりたい人です。夢中になつて何かをやりたかつたのに勇気がなくてできなかつた。そういう自分が嫌いです。自分が許せません」

食神 「あなたは本来、楽しくお金を使い、飲んだり食べたり遊んだり人生をエンジョイしたい人ですが、今まで楽しくなかつたのです。楽しめない自分が嫌いなのです」

傷宮 「あなたは本来、自分の才能を発揮したい人です。当然才能を発揮するので、他人とのゴタゴタがあります。ゴタゴタを怖れて自分の意見や才能を発揮できなかつた場合、自分が嫌いになります」

偏財 「あなたは本来、全部自分に任せてほしい人です。そうは思つて いるけど、会社の上司や周りが自分に任せてくれなかつた。だから今の自分に満足してない。だから自分が嫌いなのです」

正財 「あなたは本来、コツコツなんでも計画的に物事ををすすめていく人です。ところが、計画的にやりたいのに、なんだか周囲に流されてしまい、計画的な人生を生きてこなかつた。そのことに不満があるから自分が嫌いなの

です」

偏官 「あなたは本来、融通がきかないくらい一生懸命な人です。一生懸命に何かを変えていきたいと思っています。何かを変えたい気持ちがありながらも、何にも変えてこれなかつた恨みがあるので自分が嫌いです」

正官 「あなたは本来、自己をきちんとコントロールする人です。ですから、ある程度の社会的地位があつて当然の星ですが、未だに上司から評価されてない。誰からも評価されてない。社会的地位もない場合、自分が好きになれないません」

偏印 「あなたは本来、何でもかんでも関心を持つてやつてみたい人です。い

ろんなことに関心があるけど、何もできない、何もやれてない、やつてこなかつた。そういう不満があるから自分が嫌いです」

印綬「あなたは本来、自由に束縛されずにやりたい人です。ところが実際は、ずっと束縛されてきた人生だった、という恨みがあると自分が嫌いです」

今回は通変星の例で解説しましたが、自分の通変星らしさを出せている人は、そんなに人生に悩みません。通変星らしさは結局自分らしさだからです。人が何と言おうと関係ありません。比肩・劫財なら勇気を出してやりたいことやればいいのです。偏財だつたら、全部任せて欲しい思いですから、任せてももらえないなら会社を辞めて自分で会社つくつてやればいいのです。それが自分らしさです。自分らしさが出てくると、自分が好きになります。自分

が好きになつてくると、相手を許せる度量がでてきます。結局、自分に満足してないのです。自分に満足していないから今までのようにならぬでいたいのです。これが奇法の解釈です。

■「異性に心を開くことができない」四柱推命的応答話法

「カッコつけてるから」「傷つきたくないから」です。これだけです。無理に自分をよく見せようという思いがあるから異性に心を開けないので。もつと言えば、本心で異性にぶつかつていけば傷つくかもしれないのが怖いのです。では「なにを恐れているのか?」を通変星でみてみましょう。使う通変星は月支元命でもいいですし、月上の天干、年の天干でもいいです。

比劫・「あなたは、人と比べて『勝ってる』そういう気持ちが欲しい人です。

欲しいけど、人と比べて自分が劣っている現実がある、これが許せません。それでも異性に心を開いていきたいと思うなら『人に勝ちたい気持ちはあるけど、実際は勝てない自分だ。』だけど、そんな自分を許すことです。』

食傷 「あなたは、言葉が巧みです。人を楽しませたい欲求がありますが『うまく人を楽しませることができない』という思いがあります。そういう自分を許すのです。』

財星 「あなたは、人を支配するとか、抑える、コントロールしたいという欲求があります。なぜなら、その人の抱えている気持ちがなんとなく分かるからです。『人の欲求に答えてあげよう』という欲求があるから、結果として支配するようになります。そうした場合、相手の反応が怖いのです。例えば異

性をみて『これを困つてゐるな、じやあなんとかしてあげよう』とズバッと入っていくと、異性から『あんた何するのよ』と反発をされるのが怖いのです。』

官星 「あなたは責任感、常識、世間体、こういうものに敏感です。こういう価値観があるので異性の前に立つとどうしても緊張してしまいます。特に男性の場合、女性に対して『女性と付き合う以上、責任をとらないといけない』と思ってしまいます。ある程度役職のある人では『世間は自分をどう見るの?』と世間体が気になってしまい、素直に異性に心を開けません。』

印星 「あなたは、自分の欠点を隠したい欲求が非常に強いです。印星は人気星といわれます。まわりから好かれたいと思つています。『好かれてなんぼ』という価値観を持っている人が、素直に自分を出してしまうことは、欠点を

出してしまったこともあります。だから欠点を隠したくなります」

■「片想いの状態から脱出したい」四柱推命的応答話法

片想いの状態から脱出したいということですが、まずこの言葉が駄目です。「片想い」と「両想い」この二つは敵対する言葉です。敵対関係の発想が頭にあるうちは何やつてもうまくいきません。自分が片想いか、両想いかを分けて考えているということです。すなわち「両想いでなければならないのに、自分は片想いだ」という脳が敵対関係の状態なのです。実際、片想いの相談を受けてみると「なぜ相手は自分のことを好きにならないのでしょうか?」というセリフをよく聞きます。その人の心理状態は、「自分は相手を好き」です。これはいいでしょう。単純に好きだから。

ただ相談者の気持ちを突き詰めてみると「自分が相手を好きだから、相手

も自分を好きにならねばならぬ」という気持ちが根底にあるのです。これが非常に恐ろしい発想なのです。ですから片想いの相談に来る人は、実は非常に恐ろしい人なのです。本当のところは「超エゴ」の人が相談に来ているのです。自分が相手を好きだから、相手も自分を好きにならなければならぬ、という気持ちが必ずあるからです。

結局これは「自分は相手の心を支配したい」という相談なのです。とんでもないことです。こういう悩みを持つ人は、相手の立場に立つて考えることができない人がほとんどです。つまり、こういう片想いの状態の人は、相談に来た時点でだいたいエゴイストと結論づけて間違いありません。ですからエゴイストが相談に来たということです。心の一番深い根っこは相手の心を支配したい思いです。ところが、こういう相談者のエゴをズバッと切つてカウンセリングできる人は、実際にはあまりいません。ですから一般的な占い

師としては、それとなく適当にカウンセリングして帰つてもう程度でいいのかもしれません。その場合の便法を通変星を使って説明します。

比肩 「あなたは、もともと異性とはフレンドリーですから、仲良くできるはずです」

劫財 「あなたは、もともと刺激的な恋愛がお得意ですから、そのまま頑張れば何とかなります」

食神 「あなたは、もともと世話好きですから、その人をいろいろとお世話してみたら何とかなります」

傷官 - 「あなたは、相手の欠点を必ずみていますから、その人の欠点をサポートしてあげれば何とかなります」

偏財 - 「あなたは全部俺任せろという個性の持ち主ですが、片思いの悩みを持つていること自体、偏財らしい個性が出てないということです。ですから、もつとあなたの個性を出していけば何とかなります」

正財 - 「あなたは、もともと誠実なタイプですから、まずはお互いに尊敬し合うところから始めれば何とかなります。お互いにいいところを認め合いましょう」

偏官 - 「あなたは、何かに従いたいタイプですから、相手からいろいろと教え

てもらえば何とかなります」

正官 - 「あなたは、相手が尊敬できる人なら盲目的に従うことができるので、相手に完全に従つていけば何とかなります」

偏印 - 「あなたは、ユーモアたっぷりですから、あの人にそのユーモアで接すれば何とかなります」

印綬 - 「あんまり考え過ぎないで大らかに、好き嫌いを抜きに楽しく接すればなんとかなります」

片想いの相談については、相談者が来た時点で「エゴな人が来た!」と思つ

てください。自分が相手を好きだから、相手も自分を好きにならなければいけないという人、相手を支配したいという動機の人が来たと判断して下さい。

■「異性からあなたはどう思われているか?」四柱推命的応答話法

「好きな人から自分はどう思われてますか?」という質問です。こういう心配と不安の心理を持つている人には、まず、とにかく安心と自信を与えなければ駄目です。不安と恐怖を持つている以上、はつきりいつて異性から嫌われます。ですから相談者に安心と自信を持たせねばいいのです。ですから答えは決まっています。『異性からどう思われていますか?』という、その思い自体が駄目なのです。今ままのあなたで充分魅力的じやないですか、男らしいですよ。かつこいいですよ。女らしいですよ。かわいいですよ』と言つ

てあげればいいのです。そうやつて安心と自信を与えてあげればいいのです。占いで生年月日を出して、あなたは異性からこう思われてますよと、まともに答える必要はありません。安心と自信を持てば自然と異性からもてますから、まずいいところを誉めてあげることです。これを通変星の例に説明していきます。

比肩・「あなたは見た目は非常にソフトに見えますが、実際は負けず嫌いです。その負けず嫌いなところがあなたの最大の魅力です」

劫財・「あなたは見た目は非常にソフトに見えますが、実際は負けず嫌いです。その負けず嫌いなところがあなたの最大の魅力です」

食神 - 「あなたはとてもおおらかです。そのおおらかさがあなたの最大の魅力です」

傷官 - 「あなたは非常にシャープな感性を持っています。それがあなたの最大の魅力です」

偏財 - 「あなたは社会と積極的に関係を持つていこうとします。社会性や社交性があなたの最大の魅力です」

正財 - 「あなたは非常にまじめなタイプです。約束したことは百%きちんと守ります。そこがあなたの最大の魅力です」

偏官 - 「あなたは古いものを破壊して、新しい何かを創り出します。そこがあなたの最大の魅力です」

正官 - 「あなたは目上に対しても目下に対しても、きちんと目配りができる礼儀正しい人です。それがあなたの最大の魅力です」

偏印 - 「あなたは発想そのものが変わっています。その非凡なところ、ユニークさが最大の魅力です」

印綬 - 「あなたは、いつも新しい知識を求めている非常に好奇心の強い人です。それがあなたの最大の魅力です」

同じテーマ「異性からあなたはどう思われているか?」を十干で解説します。

甲 「あなたは理屈っぽいところがあります。もうちょっと緊張を解いて、心から笑つたり悲しんだりしたほうが魅力的です」

乙 「あなたは細かいところまで気を使つていろいろ大変ですね。でもそういう細かいところに気を使うのがあなたの魅力なのです。」

丙 「あなたは体の中に非常に熱い血が流れています。それがあなたの魅力です」

丁 「あなたは何でも丁寧にゆっくりきちんとやるタイプですね、それがあなたの最大の魅力です」

戊「あなたは非常に頑固でなかなか自分の考えを曲げないですが、何より人との信頼関係を大事にしますね。それがあなたの魅力です」

己「あなたは泣いたり笑つたり悲しんだり、非常に忙しいタイプです。感情を表にしてワーワーしますが、それがあなたのとっても素敵な魅力です」

庚「人の言うことを聞かないタイプなので、相談者として来ることは実際は少ないですが、もし来たら「あなたの人の意見を聞かない強さがあなたの魅力なのです」

辛「あなたは非常に感性が鋭いタイプです。打てばカーンと響く豊かな感性

があります。それが素敵な魅力です」

壬 「あなたはいつも時代の流れを見て必死になつて頭を使っています。それがあなたの魅力です」

癸 「あなたは周囲の人から常に愛されます。人から好まれる性格をしてます
が、それがあなたの魅力なのです」

自信と安心を与えて帰つてもらうことが重要です。

■「セックスの相性」占い心理学的解決法

はつきり言つて肉体の相性というものはありません。実際に相談を受けてカウンセリングしていくと、本当の意味で肉体の相性で困っている人はまずいません。本当の問題は、パートナーと本音で会話してないところにあります。例えば男性の場合、セックスのときにパートナーに「ああして欲しい、こうして欲しい」といろんな要求をすることがあります。自分の気持ちを正直に言つているのだから、これは非常にいいことです。ところが女性の場合、パートナーに対して要求しにくいと思う人が多いのです。ところが、その状態が長い期間続くと、「体の相性、肉体の相性、Hの相性が悪い」と思うようになってしまいます。つまり自分の正直な肉体の欲求をパートナーに伝えていいのです。言つてないだけなのです。

- ・肉体の欲求を伝えられない女性の悩みを解決するには？

こういう状態の人には、肉体の欲求があれば「あそこを触つて欲しい」とか「いきなり結合に入らないで欲しい」「ああして欲しい、こうして欲しい」と具体的に欲求を口に出して言いなさいといつてもなかなか実行しません。そういう場合、どういうアドバイスをするかというと、仕方がないのでセックスの結合時間を三時間以上取りなさいといいます。結合して運動するだけがセックスというわけではないですから、ただくつづいているだけでいいのです。ただくつづいているだけの状態を目標にしなさいといいます。そうするとまず体の緊張が取れます。体の緊張が取れ、心の緊張も取れ、お互に一体となつて会話が始まるのです。例えば三時間もじ一つと結合して一言も話さないままでいることはまずありません。何か会話が始まるのです。完璧に心が解放された状態の本音が言いやすいのです。ですから「三時間以上時間をかけてセックスすると大体の問題は解決する」とアドバイスします。セックスの相

性は四柱推命の通変星を使つてアドバイスできるのですが、この場合、二人の生年月日から通変星を出します。出し方は日干を使つてもいいですし、セツクスの相性なので日支と日支でもいいです。または日干と日支でもいいです。とにかく通変星を出してみます。

比肩 「あなたは、もともと人間関係に緊張感の無いほうです。ですからベッドでも友人のように何でもリラックスして話ができるはずです」

劫財 「あなたは刺激を求めるので、ちょっとアクロバティックな体位を試してみるとが、いつもと違ったことをやってみるといいでしよう。ベットでの刺激を工夫してみたらいいです」

食神 - 「あなたはサービスしたり、されたりが好きです。相手に『何かして欲しいことない?』とたずねてみるといいでしょう。あるいは逆に『こんなサービスしてよ』と要求してみたらいいのです」

傷官 - 「この星を持つている人は大体の場合コンプレックスを持っています。ですから、あなたは欠点を相手にさらけ出してみたらいいです」

偏財 - 「この星の象意はお互いに支配されたり、支配することです。ですから、あなたはセックスの場面でもやってみたいこととか、やられてみたいことがあるはずです。それを口に出して言つてみたらいいのです」

正財 - 「この星は全部相手にゆだねてみる関係なので、あなたは『頭のてっぺ

んから足の先まで全部相手の自由にしてもいいよ』とゆだねてみたらいいで
しよう』

偏官 - 「ちょっと人との関係に無理や緊張感が発生してしまった場合があるので、
あなたか相手のどちらかが、何か嫌がつてないか聞いてみることです。『あれ
していい?』『これしていい?』『嫌じやない?』その都度、確認してみたら
いいでしよう』

正官 - 「あなたは、ちょっとまとも過ぎます。理性的過ぎるところがあるので、
もつとバカになつてみることです。理性とか常識とかを解放してめちゃくちゃ
やってみることです」

偏印 「もともと快楽の関係です。ですからあなたは脱日常の世界が好きです。生活臭がするような環境では燃えないので、普段とは全く違うような環境を用意して楽しんでみることです」

印綬 「どちらかが受身になりすぎる傾向があるので、あなたはた我慢しないで自分から攻めてみるといいでしょう。ただし黙つて攻めるだけではよくありません。『あれしたい、これしてみたいけど、いいですか？』と相手の了解をとりながら、攻めてみればいいのです」

・セックスの相性の根源は、心情的なもの

セックスの相性の相談で重要なのは、まともに体の相性を四柱推命を使つ

て分析しても仕方ありません。この悩みの一一番根本にある問題は、パートナーと本音で会話できることです。ベッドで自分の本音を出してないことが一番の問題なのです。これは相談者自身、気がついてません。本当の問題に気がついてないので。その点を踏まえて、占いカウンセラーなどの、相談を受ける立場の人は工夫する必要があります。

また、まぐわい（＝セックスの意味）には、教える側と教えられる側があります。これは非常に重要なことです。教える側は実は女性なのです。まぐわいのときに、男が一番がっかりするのは、女性が喜んでなかつたり、満足してない場合です。体が反応していない場合も同じです。男はがっかりしてしまいます。

・女性が喜ばないまぐわいはしないほうがよい

ですから力ずくで女性をレイプしたとしても男は絶対に満足できないのです。むしろ寂しさや孤独な想いがどんどん沸いてきてしまい、またレイプしてしまうのです。レイプする人は絶対に満足しないので、次から次へとレイプを繰り返すのです。それほど、まぐわいにおいて、女性が喜ぶことは非常に重要なことなのです。女性が喜ばないまぐわいは、しないほうがいいのです。ところが女性が喜んでいるのか、満足しているかどうかは、男からみると非常にわからないものです。表情とか体の反応だけで判断するしかありません。ですから具体的に言葉に出して、「今日は百点」「今日は八十点」「今日は四十点」とか点数が出てくれればわかりやすいですが、点数がでてこないので男はわからないのです。だから男は教えられる側なのです。

勘違いしないで欲しいのは、男性関係が多い女性でなければ男を教られないというものでもありません。テクニック的なものを教えるということでは

ありません。今、自分がどのくらい満足しているのかを教えることができればそれでいいのです。だから要するに、変な我慢をするなどということです。男が欲情して仕方ないから、女性は下になつて我慢して射精を待つている、これが最悪です。

女性は我慢してはいけません。単に我慢して、下になつてただじーっと「早く終わってくれないかな」と思つて目を閉じて待つてゐる状態では、女性をどんどん不感症にしていきます。例えば「挿入が早過ぎる」「動き過ぎる」「運動会じゃないんだから、もつとゆっくりできないの!」と言えばいいのです。「ゆっくり丁寧にできないの」「あまり強くしないで」と言えばいいのです。自分の言葉で満足していないことを伝えればいいのです。

そうすれば男は「ああ今の行動は彼女を満足させてないんだな」と思います。

そして男は考えて工夫します。「あれはどう? これはどう?」いろいろ試しますので、結果、駄目なら駄目と言えばいいのです。一番いいのは「それ今五十点」「これは百点」のように点数で表現すると、よく分かります。「まぐわい」については経験豊富な男が女性に教えるもののように、本とか週刊誌などのメディアはいっていますが、本当はそうではありません。毎回の行為ごとに男性には、女性の精神構造や肉体構造を教えてもらっているという謙虚さが必要です。ですから、まぐわいのときは女性を教師役と思わなければいけません。我慢して「旦那の相手だから」とか「結婚してしまった相手だから我慢しよう」と思つていては駄目なのです。そういうカップルは必ず破綻します。

■ 「人生の分かれ道」 占い心理学的解決法

占う以前から答えは決まっています。普通占いの正法を使うと、いろいろ

な技法を使つて吉とか凶を出して解答します。例えば、命式と年柱が沖すれば運が悪くなつていくとか、正官が来るとよくなる、傷官の運が来れば人間関係で傷がつく、劫財が来ればお金を失う、偏財が来ればお金がまわるとかいいます。しかし奇法では、こういう解釈は使いません。というも、実際の現実は正法の理屈どおりにはならないからです。実際のところ、それまでの人生で一生懸命、沢山の困っている人を助けてきた人は、どんな運回りの星が来ても自動的にいいほうに向かつて行くのです。逆に困っている人を見ても無視してきた人とか、「困っている人を助けたら損する」と発想する人、損得計算して困っている人を無視してきた人は、どんなに運が来ても悪いほうに行つてしまします。これは決まっています。占いではわからない部分です。占いと関係ないところで決定されます。

しかし多くの人を助けるといつても、ではボランティアや何か社会奉仕をし

るというものではありません。例えば、比肩なら比肩らしい人生を歩むことで、自動的に困っている人を助けるようになつてているのです。食神なら食神らしい人生を歩んでいると、困っている人を助けるようになつてているのです。実は全ての人が、困っている人を見ると助けることのできる才能を持っているのです。このことを通変星で解説します。

比肩・劫財－人よりも大きな責任を持つても耐えられます。「わかりました、私がやりましょう」という、そういうチャンスが必ずあつたはずです。

食神・傷官－人に喜んでもらえるサービスを実行するチャンスがあるはずです。
そういうチャンスがあればやればいいのです。

偏財・正財 - 言われた以上のことやらないといけません。例えば財星は「なぜ上司が自分に対してそんな指示を出すのかな」と必ず考えます。そして「会社はこういう事情だから自分にこういう指示が来たのか」と理解することができます。ですから指示された以上のことをやつて当然なのです。これが困っている人を助けることになるのです。

偏官・正官 - 今まで「ハイわかりました」と言つてきましたか?たとえ上司から変だと思う命令がきても「できません」というのではなく、「ハイ!やります」と言つてきたでしようか?官星はこう言える才能を持つているのです。上司は無理な命令をしたと思つてているのですから、そうすると上司は「ああ助かったな」と思います。つまり困っている人を助けたことになります。

偏印・印綬・いろんな知恵やアイデアを出してきましたか？周りの人を楽しませてきましたか？印星の人はそういうことができるはずです。会社が暗いムードになっているときに、いろんなアイデア出してまわりを楽しませることができます。すると困った人を助けたことになります。

無理をしなくてもいいのです。持つて生まれた星を使えばいいだけです。自分らしく生きれば自動的にこうなるのです。自分らしい道を歩んできた人は「人生の分かれ道」でも自動的にいい方向に行きます。

占い師向け プロ向け

Windows 対応ソフトウェアの紹介

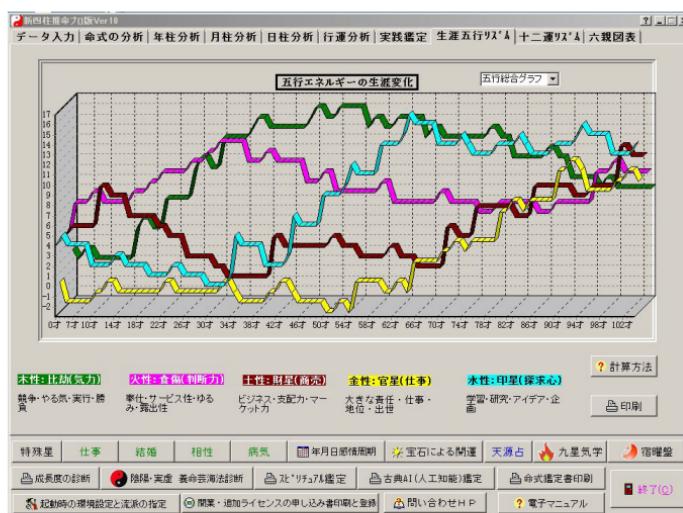
・どのソフトウェアからも鑑定書の印刷が数十種類可能です。印刷物を顧客に渡して、解説を行うことで占い師として開業することが可能になります。

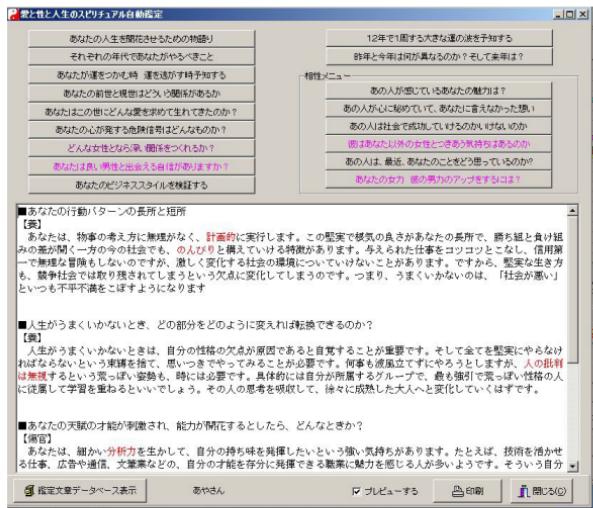
Web

新四柱推命プロ版Ver1.0

東洋医学バンドルセット

命式分析画面



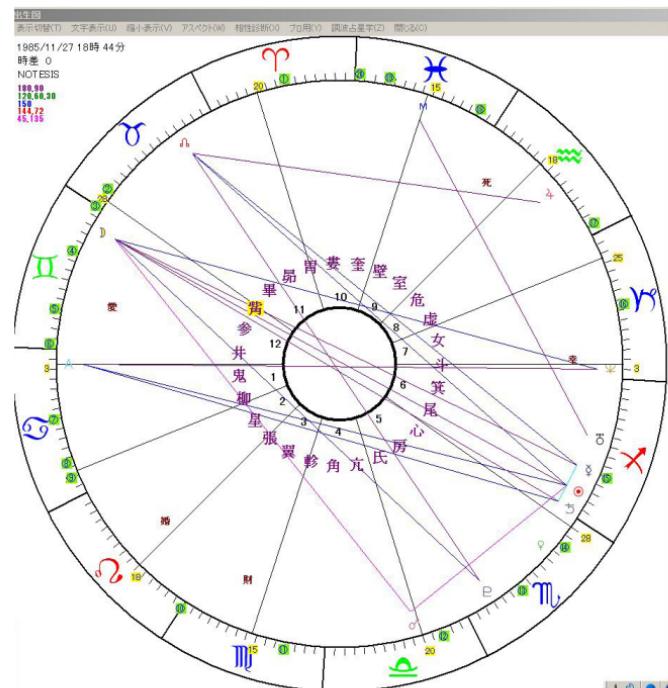


自動診断画面でも命式のどこを見るかを指定することができます。見る場所が変われば診断結果もまったく異なってきますからこの機能は必須です。

Web

西洋・インド・七星占星学プロ版

マヤ占星術バンドルセット



七政占星学の中国
漢二十八宿の位置

七政占星学A診断

七政運行図

出生印刷

NOTESIS 1985/11/27 30才

□ 入名1 □ 入名2

□ マイドミック(8)

□ フォーチュン清浄法表示(9)

□ ? 研究

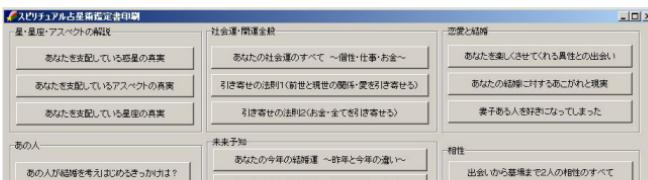
□ 入名情報登録

□ ライセンス情報登録

□ リセット(1)

七政占星学画面

インド占星学画面



この画面のメニューすべての診断内容は生特が不正確でも診断精度が低下しないように算出されています。

だからといって、すぐに結婚を視るのも幸運なこともあります。今後、あの人が、結婚を視るのをとして実現していくには、男と女の下に下した恋愛経験が何よりも重要です。つまり、そういう恋愛経験がない人は、自分に自信がない。女性は更に自信がないのです。結婚を司る神からのメッセージで、「ヨーロッパ的な恋愛と結婚は別物である」です。結婚といふ時は、結婚をするには、恋愛感情で牛乳を飲む立たないことを学習する必要があります。

■結婚生活を円満にするために あなたが持つすべて妻相手の欠

「昨日の空鬥」で「立つ」というのに、「立つ」が「立つ」ばかりの人が多い。あの人間もわざわざ立っている矢足の不得意な部分は、星山が立っているので示されています。つまり、あの人は、自分自身の能力や得意性などといったことにとらわれ、運営したる自尊を持つことができないかもしれませんから、それを攻めるではなく、許さずとも運営だと理解することです。仕事人の人間関係では、さほど目立つこのない弱い部分ですが、結婚して子供ができた場合では、弱点となる場合があります。人の価値は、社会的な地位や能力で決定されるものではないことを、あの人へ教え、希望を持たせ元気づけるのは、あなたの役目です。

■あの人があなたの愛によって成長するとどう変化するか



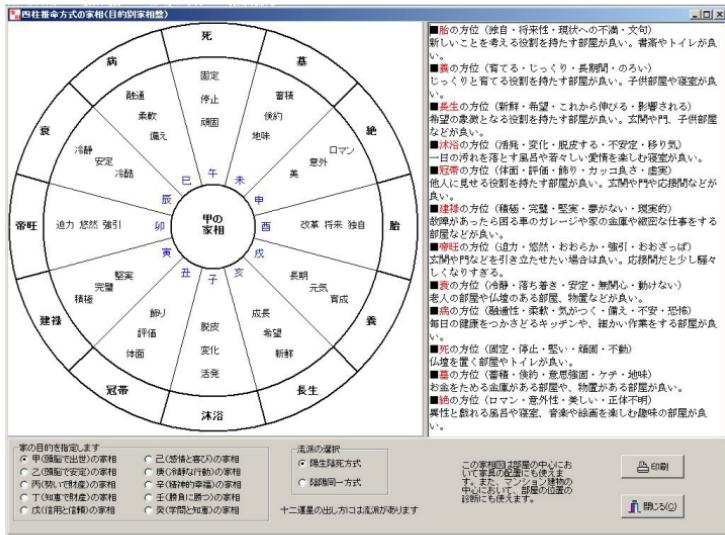
NOTESIS 1985/11/27

11

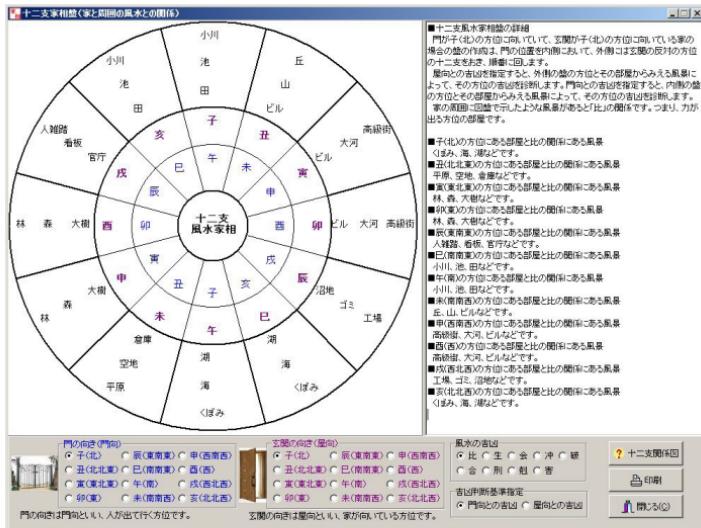
[フォーチュン流ホロスコープ図の超訳資料 星座の欲求を満足させるのは惑星の任務](#)

Web

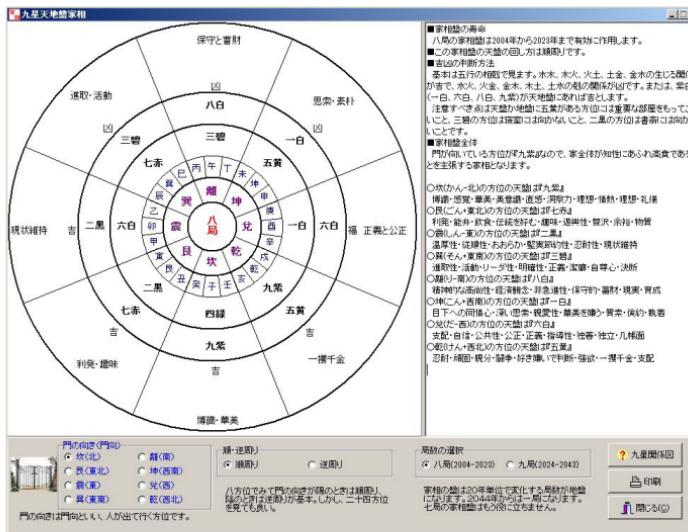
家相・手相・姓名判断。プロ版



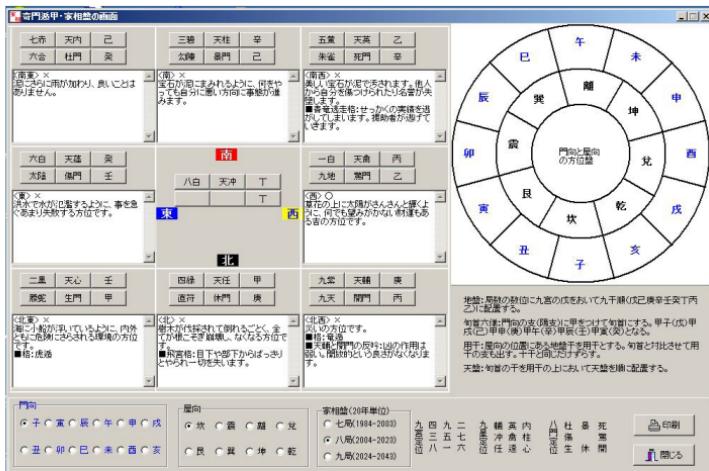
四柱推命式家相盤画面



十二支家相盤画面



九星家相盤 画面：日本で家相といったらこれを示しますが正直言って不十分です。



奇門遁甲家相盤 画面

姓名判断画数診断画面：日本では画数が決まれば吉と凶が決定されると思われていますがとんでもない間違いです。なぜ23画が吉なのか？乙と丙が並ぶからです。根本を知らないで診断はできない。

新姓名字大宝典 手相診断 総合ソリ

データベース画面 | 宇宙・姓名診断 | 三才・五行相性占 | 宇源・字形・當徳・狀数 | 道場(3方) | 法則診断 | 幸運診断 | 相性診断 | ロマ・学名診断

社會人上昇

「人が金で」天火がですから、隕くが熱い炉で滲みかけ雷風を喚くように、天から落ちついて支配され、何かと拘束を受けます。強引・精神力を持て、自分の意見を主張する力が弱いです。一方で、天火は「火」の性質で、自己表現力が強く、口下手な人は、天火の性質で、口下手の人より、人間味が豊かで、人間味を發揮されています。そのため、今までの幸運の地位が、簡単に変わってしまう事が多いです。しかし、天からの恩恵を受け、不思議などは現場の人や環境に恵んでいます。

健康運

「人が金で」この金は「火」の火から剥離され、「地」の土から生まれられます。従って、五木の「風」の運勢は、天から強めに、地から熱めというかたちで人に流れられます。家庭運でも、運勢は常に強めで、かねてから、家庭運が運勢で評価される家庭で、移動が多い家庭で、釣り立たれてきました。そのため、重病や病気、事故、けがは覚悟で、突然の災害や苦痛などに備えが必要でしょう。

家庭運・下落運

「人が金で」地の土がさらに、土から根が生えられています。土は穂穂で、穂穂であります。家庭も自ら穂穂であります。つまり、家庭や下落は子孫から何が付けても受け取るが、家庭の運勢は、人よりも子孫によって運営されています。そのため、子孫が運勢を運営する事になります。そのため、子孫が運営する事になります。そのため、子孫が運営する事になります。それでは、1人で暴走すには、家族や下子を大切に、恵まれた家庭運を大切にして下さい。

結婚運・出会い運

男性は「火」から出走する可能性の高い女性は「地」の土の土です。使って一見すると、女性の運勢は、天安泰に運営している「地」の運勢(愛情)が強めであります。女性から見て出走する可能性の高い男性は「天」の火の火です。使って情熱的で熱狂を感じる、腹にインモジカ持てない率直で開放的な男性と縁があります。

木 火 土 金 水

天人地の点数表示

三才・五行による五行の相性診断は、現実的能力や行動傾向への作用を見ます。

凸印印刷

姓名判断五行診斷画面

新姓名字大字典 手相診断 調査ソフト

データベース画面 | 宇画・放理法 | 三才・五行相術法 | 字源・字形・常識斗技法 | 音韻(3才)方法診断 | 每年の運診断 | 相性診断 | ローマ字名診断 |

曾	ノ	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
我	カ	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
部	ベ	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
郁	イ	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
子	コ	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文

感情的にになりやすい性格で、高い理想を持ちながら自分を高めていく事が大事です。あなたたの現状を見ている周囲の人は、あなたの現状なり行動手帳について承認してくれるでしょう。

明るく陽気な性格、理窟の高い頭脳が回転が速く、考えること好きであれこれ空想してしまうことがあります。もともと現実をすくえずに常に夢見たことを考える傾向で、人と接する人として預けが深い、人情、反面冷たい面もある人。表立って冷感さを感じないでお人好いで通じましょう。それは自分一人ではなく他の方へ寄ってるてしまう、人が来ると空虚感はいつも冷静に振るい経済的貯えよううに、徐々に燃えていくタイプ。同時にでも毎日自分で自分では気がつかないうちにも一方美人的な行動などしていることがあります。こどり時に、紙が燃えるように運んでしまう。それは運で開けられることにより運は開け。自分の地位も向上していく。相手に感謝の心を忘れないよう

純粋で朴な人。何かをする時は、人の後助顔に恵まれる。素直な気持ちで人の好意を受ける。

曾我部 郁子

音韻法による読み方は、感覚面に作用します。その結果、健康面や外見に作用します。 ? 音韻 | 印刷

音韻法による読み方は、感覚面に作用します。その結果、健康面や外見に作用します。 ? 音韻 | 印刷

音韻法による読み方は、感覚面に作用します。その結果、健康面や外見に作用します。 ? 音韻 | 印刷

姓名発音診断画面

新姓名字大字典 手相診断 調査ソフト

データベース画面 | 宇画・放理法 | 三才・五行相術法 | 字源・字形・常識斗技法 | 音韻(3才)方法診断 | 每年の運診断 | 相性診断 | ローマ字名診断 |

名前の入力 [録画(B)]

Adolf Hitler

検索 [前] [次] [最終新規削除] [編集] [別窓] [更新]

名前

- Adolf Hitler
- Bill Clinton
- Carl Lewis
- George Washington Eisenhower
- Furture Soft
- Franklin Delano Roosevelt
- HEIANKYO
- Japan
- Jimmy Carter
- Margaret Hilda Thatcher
- Mikhail Sergeyevich Gorbachev
- Mother Teresa
- Muhammad Ali
- Theodore Roosevelt
- Thomas Woodrow Wilson
- TOKYO

音韻分析

1-9 順位分析

内体・知性・精神

物質・感覚・創造

出現順位の高い方の数字の意味を説明します。

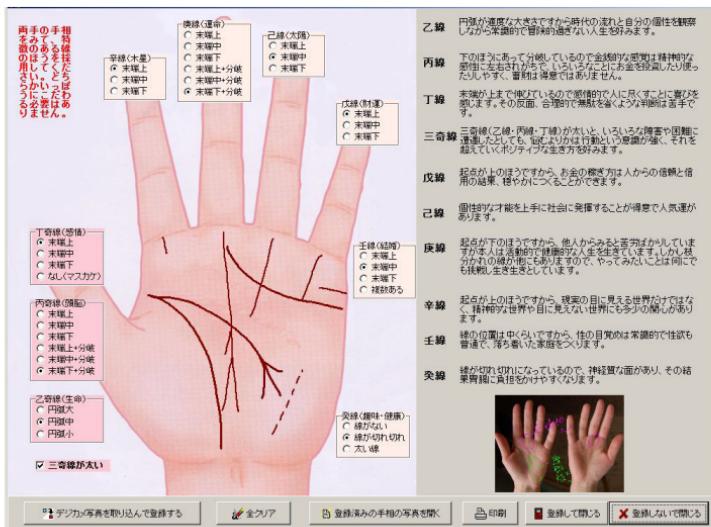
●出現順位=2位
◆出現順位=3位
▲出現順位=4位
◆◆出現順位=5位
◆◆◆出現順位=6位
◆◆◆◆出現順位=7位
◆◆◆◆◆出現順位=8位
◆◆◆◆◆◆出現順位=9位

? 整理 | 印刷

曾我部 郁子

? 歴史から戻る | ? 開業用ライセンス | 手相 | 表紙印刷 | 終了

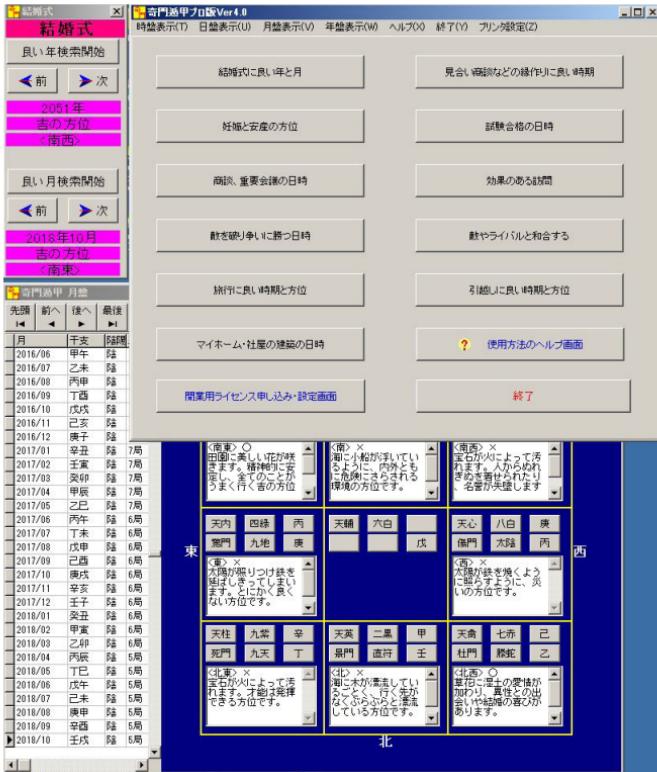
英語姓名診断画面



手相診断画面

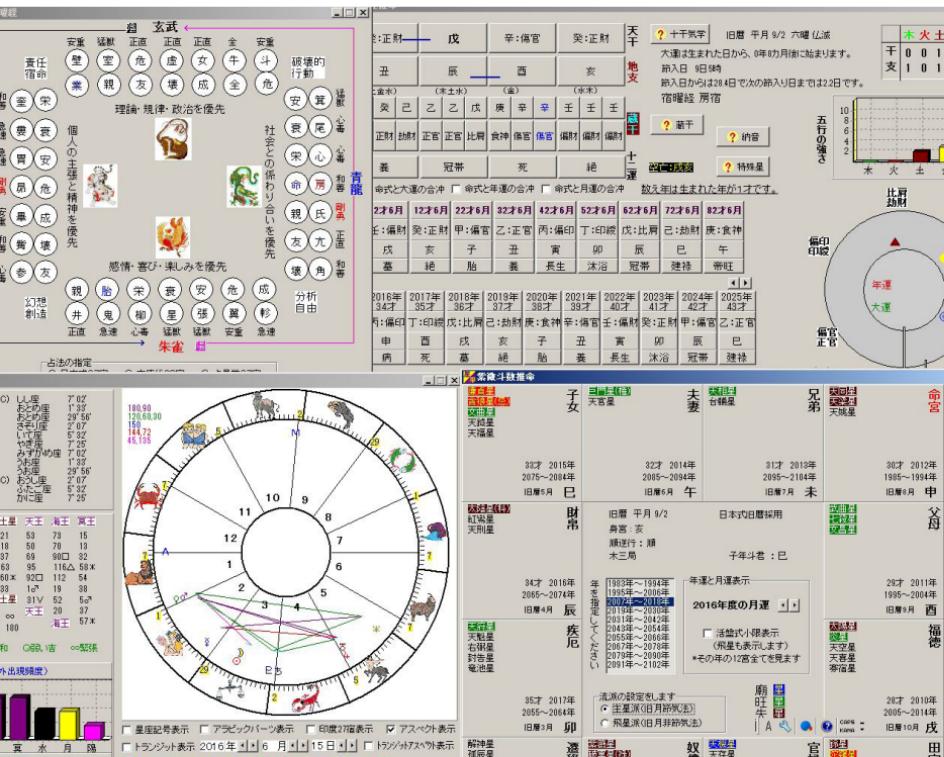
The screenshot shows a detailed hand reading analysis. On the left, there is a vertical timeline from 2003 to 2030, with the current year being 2016. The main area displays a grid of 24 boxes, each representing a specific feature or combination of features. Each box contains a small icon, a label, and a detailed explanatory text. The labels include '方位取' (Directional取), '詳細' (Details), and '凸印刷' (Convex printing). The explanatory texts provide specific insights into the meaning of each feature, such as '天柱 一白 甲' (Tianzhu 1 White 1), '死門 道行 丙' (Shimen Daoxing 3), and '庚門 九星 乙' (Gengmen Jiuxing 2). The overall layout is complex and provides a deep dive into the analysis of the hand's features.

奇門遁甲年盤・月盤・日盤・時盤画面



星平会海プロ版 素質心理学バンドルパック

Web



星平会海運命学は奥義的占いです。

四柱推命と紫微斗数推命と宿曜経と西洋占星学をあわせてみる手法を使います。

真性運を良くする方法は？	あの人のつまらなくやっていくことは？	ビジネスマンとしての適性と欠点
あなたの本当の気持ちは？	心とほと行動の利害の全て	仕事と家庭を両立させる術になることは？
大人の女性として愛されるには？	太陽が示す2人の基本的性質	独立してやっていけるか？
大人の男性として愛されるには？	今年と来年の運を占う	ビジネスをする目的と達成手段
どうすれば結婚できるか？	2017年結婚までいきつけるか？	これから10年間の仕事運
18年に一度の恋愛の未来を予想する	2017年の恋愛運と結婚運	-當面の推命-
真性!あなたさう見ているか？	<input type="radio"/> 2016年 <input checked="" type="radio"/> 2017年	財運と仕事運をアップさせるには？
宿曜経・子平單独	今月の天運はどこにあるか？	結婚を運命づけられた男性は？
月が教える宿命と性質	<input type="radio"/> 今月 <input type="radio"/> 来月 <input type="radio"/> 両年月	妻にしたいと思う女性はどんな人？
六十干支が教える性質		

宿曜経(1) 占星学(2) 常徳・斗数(3) 四柱推命(4) 成長度診断 メール鑑定 相場占星学 鑑定書印刷 開業用ライセンス 掲載(5)

自動診断メニューの画面

たくさんのメニューがあって、色々な占法を使いながら自動で診断をしていきます。あるときは四柱推命を、あるときは占星学を、あるときは宿曜経を、というふうに、縦横無尽に占法を使いわけて結果を融合していきます。これまでのコチコチに固まった占法ではなく、自由自在に自分の好きな占法で診断することを覚えていくと、今まで見えなかつたことが見えてきます。それが星平会海という運命学の面白さであり、奥義といわれるゆえんです。